

5 樹木調査

5-1 大径木の現況

1) 大径木の状況分析（区全域）

- ・ 区全域の大径木の状況を図 5-1 に示す。
- ・ 区全域の直径 70 cm 以上の樹木は 1,701 本であった。
- ・ 直径ランク別では 70～80 cm が 849 本と最も多く、80～90 cm が 450 本、90～100 cm が 315 本、100 cm 以上が 87 本であった。
- ・ 大径木 1,701 本のうち、区の保存樹木（幹周り 120cm 以上）の指定を受けているものは、360 本確認できた。

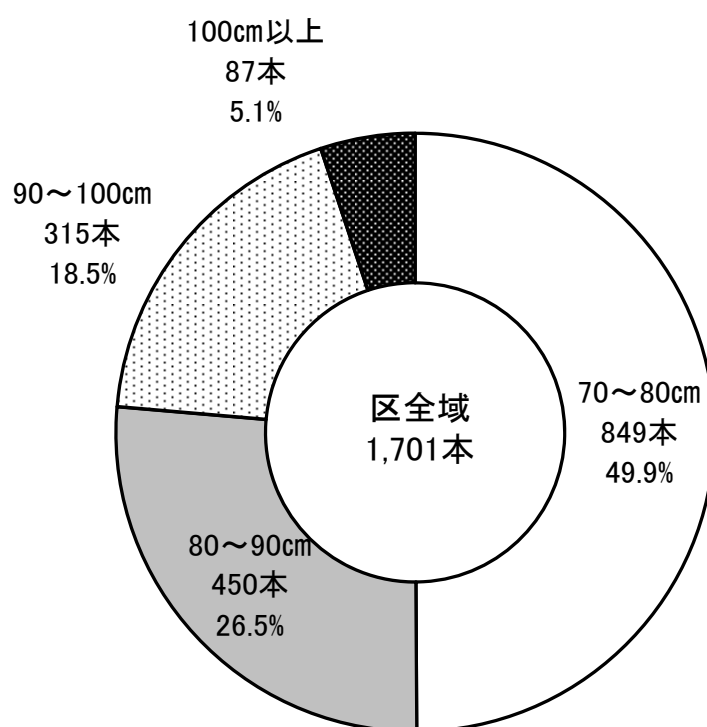


図5-1 区全域における大径木の状況

2) 調査方法

- ・ 今回調査では、平成 21 年調査樹木の再計測と、現地踏査によって新たに胸高直径 70 cm 以上※1)の樹木の現況把握を行った。
- ・ 直径 100 cm 以上※2)の巨木については、活力度等の詳細調査も行った。

※1) 幹周りに換算すると約220cm

※2) 幹周りに換算すると約314cm

2) - 1 調査項目

【直径 70 cm 以上 100 cm 未満】

- ① 樹木の有無
- ② 位置
- ③ 樹種
- ④ 形状（樹形、地上高 1.5m の直径※3）
- ⑤ 保存樹木指定状況
- ⑥ 土地利用区分

表 5-1 土地利用区分

土地利用区分	内 容
公園	区立・都立公園
公共公益施設	区立・都立・国立その他公共公益施設
学校	区立小中学校・都立学校・私立学校
道路	都道・区道・私道
社寺境内地	寺院・墓地・神社
個人住宅	戸建て住宅
集合住宅	アパート・マンション等の集合住宅
民間施設（商業系）	事務所・店舗
民間施設（工業系）	倉庫・工場
民間施設（その他）	駐車場等
その他	上記以外

※民間施設は、分かる範囲で商業系・工業系・駐車場などを区分する。

- ⑦ 施設名称

【直径 100 cm 以上】

- ① 樹木の有無
- ② 位置
- ③ 樹種
- ④ 形状（地上高 1.5m の直径※4）
- ⑤ 保存樹木指定状況
- ⑥ 土地利用区分（表 5-1 参照）
- ⑦ 活力度評価（表 5-2 参照）

※3) 株立ちの場合は各直径合計（上位 5 本）の 70% が 70cm 以上となる樹木

※4) 株立ちの場合は各直径合計（上位 3 本）の 70% が 100cm 以上となる樹木

表 5-2 活力度評価

測定項目	評価基準		
	①良好	②普通	③不良
樹勢	旺盛な生育状態を示しており、幾分被害の影響を受けているがあまり目立たない	良好・不良以外のもの	生育状態が劣悪で回復の見込みがない
樹形	自然樹形に近い	良好・不良以外のもの	自然樹形が完全に崩壊され奇形化している
梢端枯損	少しあるがあまり目立たない	良好・不良以外のもの	著しく多い
枝葉の密度	正常、枝及び葉の密度のバランスがよい	良好・不良以外のもの	枯死が多く、葉の発生が少ない。密度が著しく疎

その他、ウロの有無、剪定が強いなど特記事項があれば記入する

- ⑧ 地盤状況
- ⑨ 地盤環境
- ⑩ 育成環境
- ⑪ 景観性
- ⑫ 施設名称
- ⑬ 写真撮影

3) 大径木の状況分析 (5地域別・32地区別)

3) - 1 5地域別樹木本数

- ・ 樹木本数では常盤台地域、赤塚地域、志村地域、高島平地域、板橋地域の順であった。
- ・ 緑被率調査の樹木被覆率の順位では第1位が赤塚地域、第2位が志村地域、第3位が常盤台地域であったが、樹木本数では第1位が常盤台地域、第2位が赤塚地域、第3位が志村地域であり、4位以降は樹木被覆率の順位と同じであった。
- ・ 10ha 当たり本数については、3位までは樹木本数の順位と変わらないが、4位が板橋地域、5位が高島平地域であった。

表 5-3 地域別樹木本数と 10ha 当たり本数

地域名	樹木本数		10ha当たり本数	
	順位	(本)	順位	(本)
常盤台	1	681	1	14.6
赤塚	2	324	2	4.9
志村	3	292	3	4.5
高島平	4	239	5	2.6
板橋	5	165	4	3.1
区全域	—	1,701	—	5.3

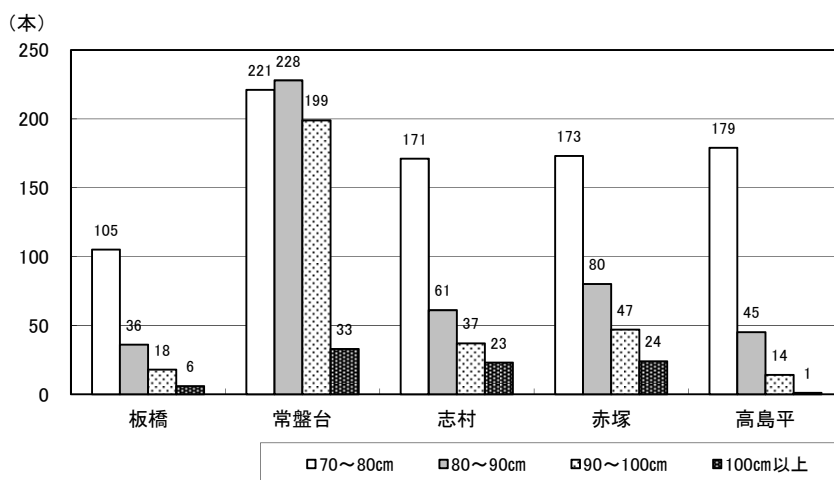


図 5-2 地域別の樹木の直径ランク構成

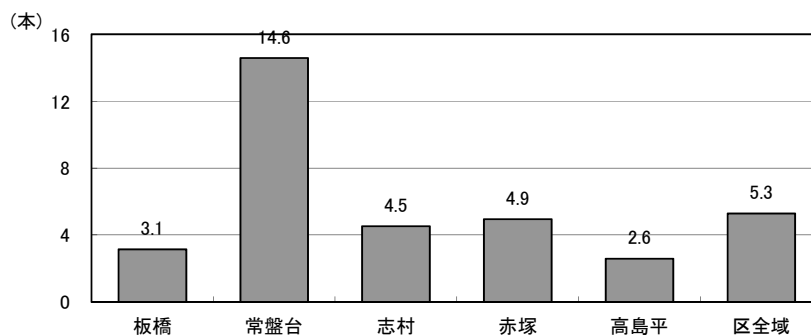


図 5-3 地域別の 10ha 当たりの樹木本数

3) - 2 32 地区別樹木本数

- ・ 地区別では上板橋地区が最も多く 252 本の大径木が確認された。
- ・ 次いで高島平地区 164 本、常盤台地区 122 本、小茂根地区 119 本の大径木が確認された。
- ・ 最も少ない地区は三園地区と東坂下地区の 5 本で、次いで仲宿地区の 7 本、新河岸地区の 8 本、幸町地区の 12 本であった。
- ・ また、直径 100 cm 以上の大径木については、常盤台地区が 13 本と最も多く、次いで赤塚地区の 12 本、蓮沼町地区の 9 本、小茂根地区、成増地区の 7 本であった。

表 5-4 地区別の樹木直径ランク別の状況

地区名	面積 (ha)	70～80cm (本)	80～90cm (本)	90～100cm (本)	100cm以上 (本)	合計		10ha当たり本数	
						(本)	順位	(本)	順位
板橋	100.5	36	8	4	1	49	13	4.9	15
加賀	48.7	16	11	5	0	32	18	6.6	10
仲宿	57.6	4	1	2	0	7	30	1.2	28
幸町	75.6	5	3	2	2	12	28	1.6	27
大山	79.1	13	6	2	1	22	22	2.8	22
中板橋	100.3	14	1	0	1	16	26	1.6	26
富士見町	63.2	17	6	3	1	27	19	4.3	17
常盤台	106.1	43	33	33	13	122	3	11.5	3
向原	43.2	11	15	18	1	45	15	10.4	4
大谷口	82.7	35	28	16	1	80	7	9.7	5
小茂根	90.9	36	40	36	7	119	4	13.1	2
東新町	67.2	23	16	21	3	63	11	9.4	6
上板橋	77.0	73	96	75	8	252	1	32.7	1
蓮沼町	113.7	27	17	11	9	64	9	5.6	11
小豆沢	87.4	35	9	3	2	49	12	5.6	12
志村	71.9	37	8	3	5	53	10	7.4	8
前野町	143.6	26	7	6	2	41	16	2.9	21
中台	71.6	12	8	4	1	25	20	3.5	20
若木	53.2	5	4	2	2	13	27	2.4	24
東坂下	45.8	5	0	0	0	5	31	1.1	29
西台	85.1	28	8	8	2	46	14	5.4	13
徳丸	187.0	52	9	2	3	66	8	3.5	19
四葉	48.3	19	11	8	2	40	17	8.3	7
赤塚	195.4	38	29	15	12	94	6	4.8	16
赤塚新町	48.9	14	4	0	0	18	24	3.7	18
成増	142.0	46	27	22	7	102	5	7.2	9
三園	57.7	5	0	0	0	5	32	0.9	31
坂下	96.7	16	0	2	0	18	25	1.9	25
蓮根	93.8	17	5	1	1	24	21	2.6	23
舟渡	208.1	16	3	1	0	20	23	1.0	30
高島平	313.0	120	35	9	0	164	2	5.2	14
新河岸	161.7	5	2	1	0	8	29	0.5	32
区全域	3,217.0	849	450	315	87	1,701	—	5.3	—

※同本数の場合の順位は 10ha 当たりの平均本数の多いものを上位とする。

4) 大径木の状況分析（土地利用別）

4) - 1 東京都土地利用現況調査結果による土地利用別本数

- ・平成23年度東京都土地利用現況調査結果による土地利用（P12 図3-6）別に、GIS分析により集計を行った。（表3-1参照）
- ・最も多いのが公園（758本）、次いで社寺境内地（202本）、区立学校（193本）、独立住宅（125本）であった。
- ・公有地の樹木本数は、全体の72.5%（1,233本）を占めている一方、民有地にある樹木本数は468本で全体の27.5%である。
- ・公園、区立学校の樹木本数は、公有地にある樹木の77.1%を占めている。
- ・社寺境内地、独立住宅の樹木本数は、民有地にある樹木の約7割を占めている。
- ・直径100cm以上の樹木は、社寺境内地（27本）、公園（19本）、独立住宅（14本）の順に多い。

表 5-5 土地利用別樹木状況

土地利用		70～80cm	80～90cm	90～100cm	100cm以上	合計
公有地	主な区有施設	8	2	1	0	11
	その他公共施設	33	21	16	7	77
	教育施設	区立学校	108	46	31	193
		都立学校	13	4	1	18
		その他	9	11	7	27
	公園	395	198	146	19	758
	公営住宅	17	20	20	2	59
	道路	54	26	7	3	90
	計	637	328	229	39	1,233
民有地	社寺境内地	96	43	36	27	202
	私立学校	12	7	5	1	25
	商業用地	11	5	3	1	20
	独立住宅	43	41	27	14	125
	集合住宅	24	10	8	2	44
	工業用地	6	4	2	0	12
	空地	16	9	4	2	31
	農用地	2	2	1	1	6
	林野	2	1	0	0	3
	計	212	122	86	48	468
合 計		849	450	315	87	1,701

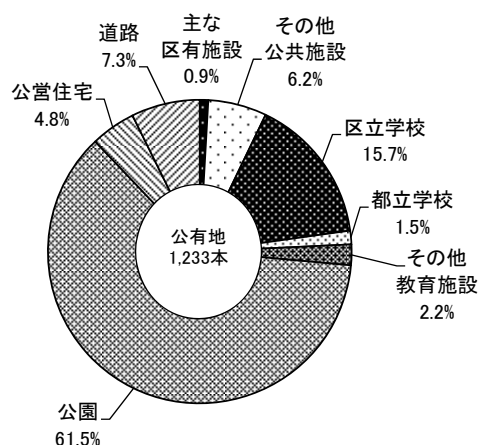


図5-4 公有地別の構成比

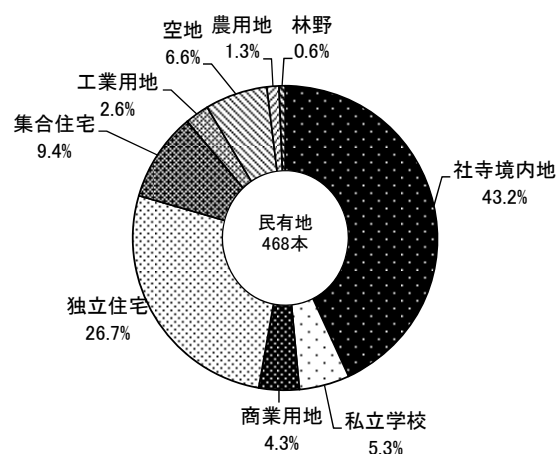


図5-5 民有地別の構成比

4) - 2 現地調査結果による土地利用別本数

- ・現地調査により確認した土地利用別に集計を行った。(表5-1参照)
- ・最も多いのが公園(778本)、次いで社寺境内地(245本)、学校(238本)、個人住宅(130本)であった。
- ・直径100cm以上の樹木は、社寺境内地(34本)、公園(19本)、個人住宅(13本)の順に多い。

表 5-6 現地調査結果による土地利用別樹木状況

単位:本

現地土地利用	70～80cm	80～90cm	90～100cm	100cm以上	合計
公園	406	205	148	19	778
公共公益施設	42	33	21	11	107
学校	137	57	40	4	238
道路	20	10	5	0	35
社寺境内地	114	57	40	34	245
個人住宅	54	37	26	13	130
集合住宅	48	28	26	3	105
民間施設(商業系)	9	8	2	2	21
民間施設(工業系)	8	2	1	0	11
民間施設(その他)	3	5	0	1	9
その他	8	8	6	0	22
合計	849	450	315	87	1,701

5) 大径木の状況分析（樹種別）

- ・ 最も多い樹種はサクラで 655 本、全体の 38.5%であった。
- ・ 次いでケヤキ（408 本）、クスノキ（169 本）、イチョウ（128 本）と続き、上位 4 種が樹木全体の約 8 割を占めていた。

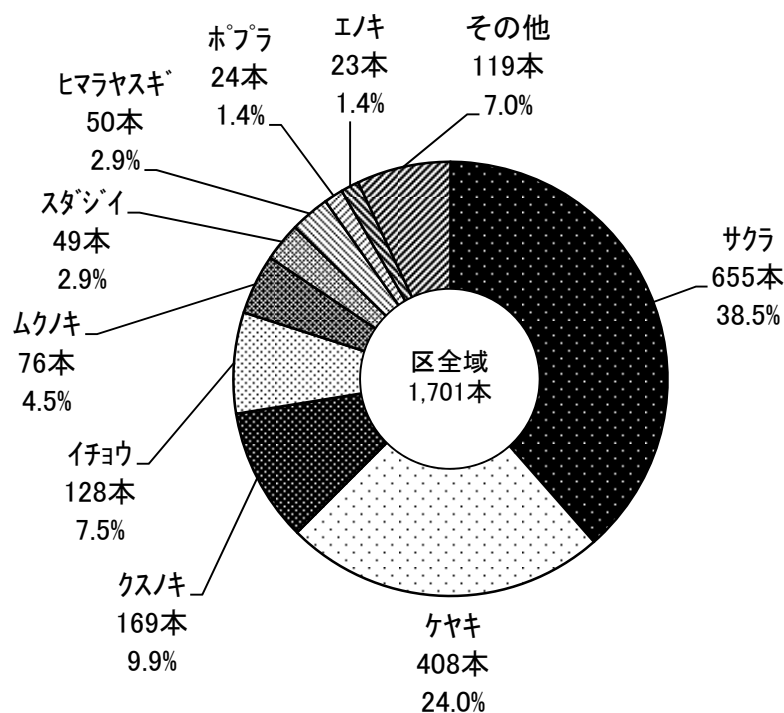


図 5-6 樹種別の構成比

- ・ 樹種別の直径ランク別について、直径 100 cm 以上の大径木ではケヤキが 33 本と最も多く、次いでサクラが 21 本、イチョウが 17 本であった。

表 5-7 樹種別の直径ランク別の状況

単位: 本

樹種	70～80cm	80～90cm	90～100cm	100cm以上	合計
サクラ	322	175	137	21	655
ケヤキ	207	106	62	33	408
クスノキ	97	42	26	4	169
イチョウ	54	30	27	17	128
ムクノキ	40	19	14	3	76
スダジイ	26	12	5	6	49
ヒマラヤスギ	18	18	12	2	50
ホップラ	9	7	8	0	24
エノキ	15	4	4	0	23
その他	61	37	20	1	119
合計	849	450	315	87	1,701

- ・ 地区別の樹種別分布状況を表 5-8 に示す。
- ・ サクラは小茂根地区（82 本）、上板橋地区（72 本）、常盤台地区（55 本）、成増地区（44 本）の順に分布が多く、4 地区で全体の約 4 割を占めていた。
- ・ ケヤキは上板橋地区（66 本）、高島平地区（42 本）、赤塚地区（38 本）の順に多くの分布がみられた。
- ・ クスノキは高島平地区（75 本）、上板橋地区（42 本）が確認され、2 地区で全体の約 7 割を占めていた。
- ・ イチョウは上板橋地区（29 本）と全体の約 23%の分布がみられた。

表 5-8 地区別の樹種別分布状況

単位:本

地区名	サクラ	ケヤキ	クスノキ	イチョウ	ムクナギ	スダジイ	ヒマラヤスギ	ホヅラ	エノキ	その他	合計
板橋	14	13	5	8	0	3	1	0	0	5	49
加賀	24	1	0	2	0	3	0	0	0	2	32
仲宿	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7
幸町	0	8	0	2	0	2	0	0	0	0	12
大山	7	7	2	0	0	0	0	1	0	5	22
中板橋	8	1	0	3	1	2	1	0	0	0	16
富士見町	11	3	1	8	3	0	0	0	0	1	27
常盤台	55	19	10	16	1	5	7	1	1	7	122
向原	39	5	0	0	0	0	1	0	0	0	45
大谷口	34	12	2	2	12	5	2	7	0	4	80
小茂根	82	14	1	4	3	5	1	1	4	4	119
東新町	15	23	3	5	1	2	1	1	1	11	63
上板橋	72	66	42	29	2	1	20	0	3	17	252
蓮沼町	31	18	1	7	2	4	0	0	0	1	64
小豆沢	21	9	2	0	5	3	3	0	2	4	49
志村	11	18	4	3	6	1	3	0	1	6	53
前野町	12	10	5	0	3	1	2	1	3	4	41
中台	12	3	1	0	1	2	2	0	2	2	25
若木	8	2	0	1	1	1	0	0	0	0	13
東坂下	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5
西台	15	12	1	6	9	1	0	0	0	2	46
徳丸	39	14	2	2	3	1	3	1	0	1	66
四葉	1	13	4	5	8	0	0	0	4	5	40
赤塚	27	38	1	14	7	0	1	0	1	5	94
赤塚新町	13	3	1	0	0	1	0	0	0	0	18
成増	44	32	1	4	7	1	1	2	0	10	102
三園	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5
坂下	12	3	1	0	1	0	0	0	0	1	18
蓮根	4	9	2	4	0	4	0	0	1	0	24
舟渡	4	2	2	0	0	0	0	1	0	11	20
高島平	29	42	75	3	0	0	1	5	0	9	164
新河岸	2	1	0	0	0	1	0	3	0	1	8
区全域	655	408	169	128	76	49	50	24	23	119	1,701

- ・ 現地調査結果による土地利用別（表 5-1 参照）の樹種別分布状況を表 5-9 に示す。
- ・ サクラは公園（266 本）、学校（166 本）に分布が多く、全体の約 66%を占めていた。
- ・ ケヤキは公園（188 本）、社寺境内地（70 本）、個人住宅（57 本）に分布が多く、全体の約 77%を占めていた。
- ・ クスノキは公園（138 本）に分布が多く、他の土地利用では分布は少なかった。
- ・ イチョウは公園（52 本）、社寺境内地（50 本）に分布が多く、他の土地利用では分布は少なかった。

表 5-9 現地調査結果による土地利用別の樹種別分布状況

単位:本

現地土地利用	サクラ	ケヤキ	クスノキ	イチョウ	ムクノキ	スダジイ	ヒマラヤスギ	ホヱノ	エノキ	その他	合計
公園	266	188	138	52	27	8	33	9	19	38	778
公共公益施設	61	24	3	6	2	4	4	1	1	1	107
学校	166	24	6	3	4	8	4	11	0	12	238
道路	27	6	1	0	1	0	0	0	0	0	35
社寺境内地	29	70	12	50	27	15	4	0	2	36	245
個人住宅	32	57	5	7	7	10	1	0	0	11	130
集合住宅	64	17	1	7	2	3	2	3	0	6	105
民間施設(商業系)	2	4	1	1	0	1	0	0	1	11	21
民間施設(工業系)	3	3	1	0	0	0	2	0	0	2	11
民間施設(その他)	2	3	1	2	1	0	0	0	0	0	9
その他	3	12	0	0	5	0	0	0	0	2	22
合計	655	408	169	128	76	49	50	24	23	119	1,701

6) 大径木の状況分析（地形区分別）

- ・ 航空機レーザデータの標高により、台地と低地の間（標高 15～24m）を斜面と定義づけした。
- ・ 樹木本数では、台地上の分布が 987 本と最も多く、10ha 当たり本数についても 6.9 本と最も多かった。
- ・ 台地、斜面、低地の順に直径の大きな樹木が多かった。
- ・ 低地上の分布はサクラ（108 本）、ケヤキ（81 本）、クスノキ（88 本）が多く、この 3 つの樹種で全体の約 77% を占めていた。
- ・ 斜面上の分布はサクラ（121 本）、ケヤキ（87 本）、クスノキ（45 本）、イチョウ（21 本）が多く、この 4 つの樹種で約 78% を占めていた。
- ・ 台地上の分布はサクラ（426 本）が全体の 4 割以上を占めており、次いでケヤキ（240 本）であった。

表5-10 地形区分別の直径ランク別の状況

単位:本

地形区分	面積(ha)	70～80cm	80～90cm	90～100cm	100cm以上	合計	10ha当たり 本数
低地	1,202.8	260	72	25	4	361	3.0
斜面	573.0	185	98	56	14	353	6.2
台地	1,433.3	404	280	234	69	987	6.9
合計	3,209.1	849	450	315	87	1,701	5.3

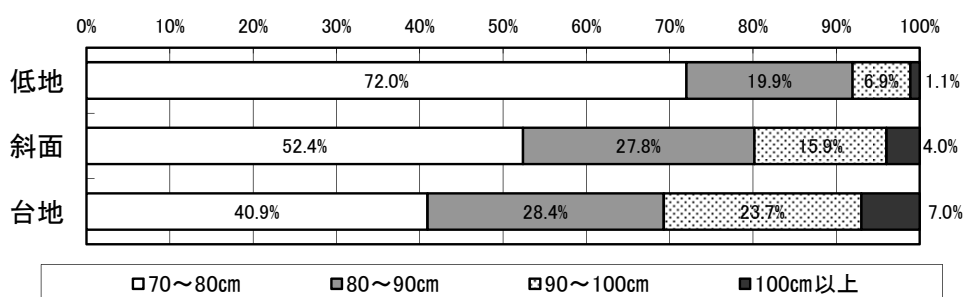


図5-7 地形区分別の直径ランク別の構成比

表5-11 地形区分別の樹種別の状況

単位:本

地形区分	面積(ha)	サクラ	ケヤキ	クスノキ	イチョウ	ムクノキ	スダジイ	ヒマラヤスギ	ホヅラ	エノキ	その他	合計	10ha当たり 本数
低地	1,202.8	108	81	88	9	19	7	7	11	2	29	361	3.0
斜面	573.0	121	87	45	21	18	12	25	2	6	16	353	6.2
台地	1,433.3	426	240	36	98	39	30	18	11	15	74	987	6.9
合計	3,209.1	655	408	169	128	76	49	50	24	23	119	1,701	5.3

7) 巨木の状況（直径100cm以上の大径木）

7) - 1 巨木の状況

- ・区全域で87本の巨木が確認され、地域別では常盤台地域（33本）が最も多く、次いで赤塚地域（24本）、志村地域（23本）、板橋地域（6本）と続き、高島平地域は1本で最も少なかった。
- ・現地調査結果による土地利用別の分布状況では、社寺境内地が最も多く34本で、次いで公園が19本、個人住宅が13本であった。
- ・樹種別の状況では、ケヤキが最も多く33本で、次いでサクラが21本、イチョウ17本であった。

表 5-12 直径 100 cm 以上の巨木本数（地域別・幹周ランク別）

単位:本

地域名	350cm未満	350～400cm	400～500cm	500cm以上	合計
板橋	0	6	0	0	6
常盤台	17	12	3	1	33
志村	12	9	2	0	23
赤塚	10	6	5	3	24
高島平	1	0	0	0	1
区全域	40	33	10	4	87

表 5-13 現地調査結果による土地利用別の幹周りランク別の状況

単位:本

土地利用	350cm未満	350～400cm	400～500cm	500cm以上	合計
公園	11	6	2	0	19
公共公益施設	5	4	1	1	11
学校	1	3	0	0	4
社寺境内地	14	12	6	2	34
個人住宅	4	7	1	1	13
集合住宅	2	1	0	0	3
民間施設(商業系)	2	0	0	0	2
民間施設(その他)	1	0	0	0	1
区全域	40	33	10	4	87

表 5-14 樹種別の幹周りランク別の状況

単位:本

樹種	350cm未満	350～400cm	400～500cm	500cm以上	合計
ケヤキ	18	9	3	3	33
サクラ	8	10	3	0	21
イチョウ	6	8	2	1	17
ムクノキ	0	1	2	0	3
クスノキ	2	2	0	0	4
スダジイ	4	2	0	0	6
ヒマラヤスギ	2	0	0	0	2
その他	0	1	0	0	1
区全域	40	33	10	4	87

※表 5-12～14 は幹周りで集計

7) - 2 巨木の活力度評価

- ・活力度評価は樹勢、樹形、梢端枯損失、枝葉の密度について「良好」、「普通」、「不良」の3段階で評価を行った。「不良」評価の樹木は少なかった。

表 5-15 大径木の活力度評価

単位:本

評価	樹勢	樹形	梢端枯損失	枝葉の密度
良好	37	27	30	31
普通	47	56	51	52
不良	3	4	6	4
合計	87	87	87	87

7) - 3 区内の巨木ベスト10

- ・今回調査において幹周りが最も大きかった樹木は、諏訪神社のイチョウで 567 cm、次いで日大板橋病院のケヤキで 536 cmであった。
- ・第1位の諏訪神社のイチョウと第3位の個人住宅のケヤキは、周囲からもよく目立ち、地域のシンボルとなっていた。

表 5-16 巨木（上位10位）一覧

順位	樹種	幹周り(cm)	樹高(m)	町丁目	所在地
1	イチョウ	567	22	大門	諏訪神社
2	ケヤキ	536	15	大谷口上町	日大板橋病院
3	ケヤキ	531	25	成増五丁目	個人住宅
4	ケヤキ	517	15	赤塚四丁目	氷川神社
5	サクラ	480	19	徳丸六丁目	徳丸高山公園
6	ムクノキ	465	17	若木一丁目	稲荷神社
7	サクラ	455	14	常盤台四丁目	平和公園
8	サクラ	433	9	小茂根一丁目	心身障害児総合医療療育センター
9	イチョウ	430	18	赤塚六丁目	松月院
10	ケヤキ	423	23	桜川二丁目	個人住宅



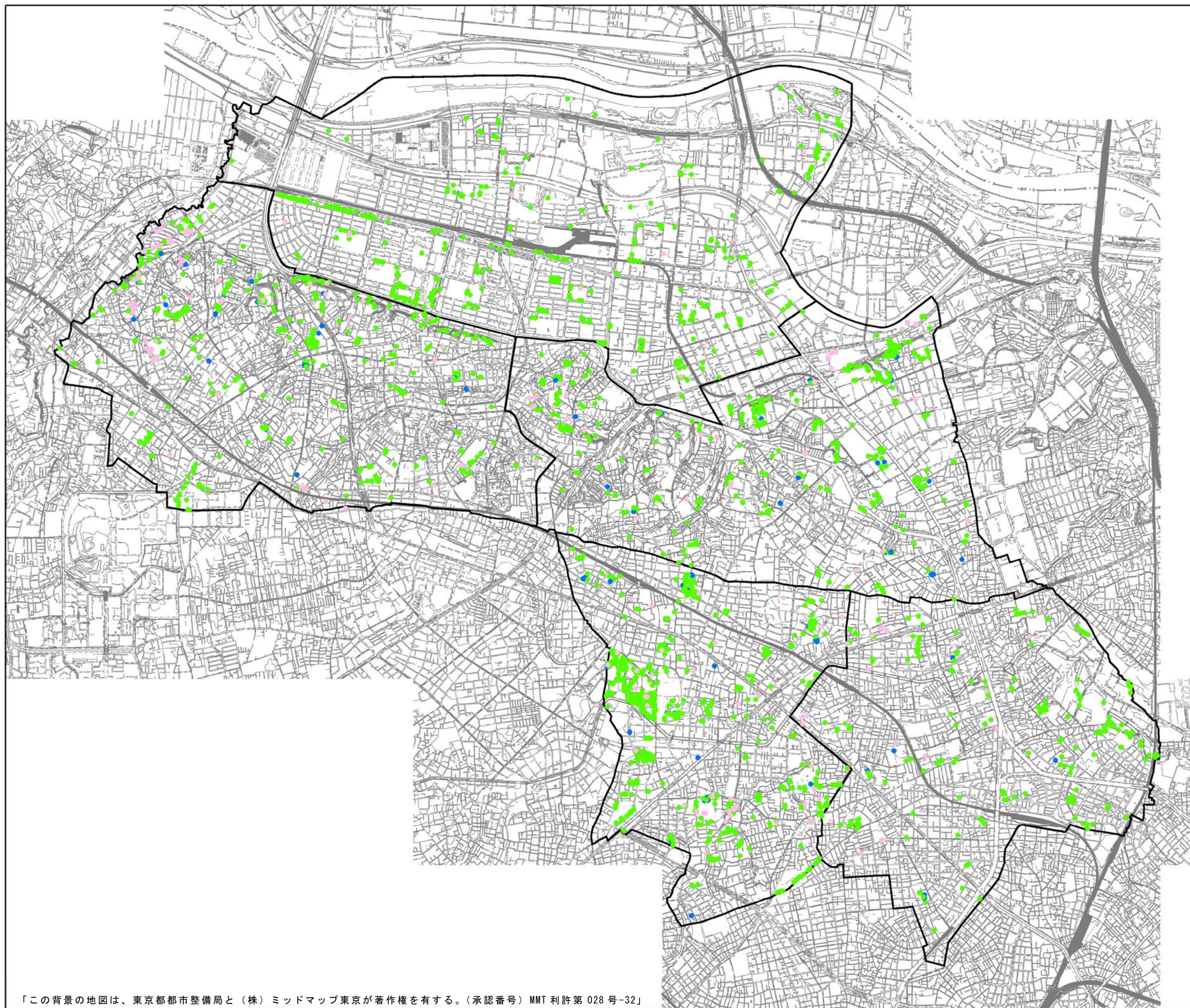
写真 5-1 諏訪神社のイチョウ
(順位: 1位)



写真 5-2 板橋病院のケヤキ
(順位: 2位)



写真 5-3 成増五丁目個人宅のケヤキ
(順位: 3位)



凡例

- 樹木(直径100cm未満)
- 樹木(直径100cm以上)
- 消失した樹木



0 250 500 1,000 1,500
m

「この背景の地図は、東京都都市整備局と（株）ミッドマップ東京が著作権を有する。（承認番号）MMT 利許第 028 号-32」

図 5-8 樹木分布図

5－2 過去の調査結果との比較

1) 大径木本数の推移

- ・ 直径 70 cm 以上の樹木本数は、平成 21 年（1,416 本）から平成 26 年（1,701 本）で 285 本の増加であった。
- ・ 今回の調査結果で、新たに確認された樹木は 410 本であった。
- ・ なお今回調査では、前回調査で直径 70 cm 以上と確認された樹木 1,416 本について再調査を行ったが、うち 125 本の樹木の存在が確認できず、建築計画による樹木伐採、伐採痕があるなど伐採された可能性が高いものが確認された。

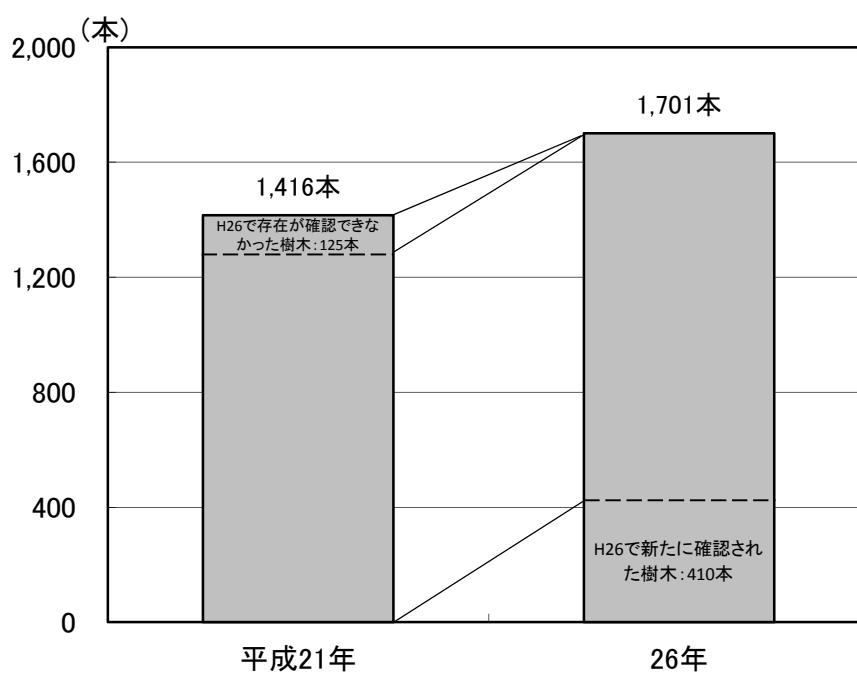


図 5-9 直径 70 cm 以上の樹木本数の推移

2) 樹木の地区別の推移

- ・ 樹木が最も増加したのは高島平地区で 73 本、次いで徳丸地区の 37 本で、特に高島平三丁目や徳丸八丁目における赤塚公園内での増加が多かった。
- ・ 志村地区については、24 本増加しており、その多くは熊野神社や志村小学校であった。
- ・ 小豆沢地区については、21 本増加しており、その多くは崖線上や志村第四小学校であった。
- ・ 一方、本数が最も減少したのは、成増地区（23 本）であり、都営成増アパート、赤塚第二中学校、菅原神社などで減少がみられた。
- ・ その他、富士見町地区で 3 本、向原地区、大谷口地区、小茂根地区で 2 本が減少した。

表 5-17 直径 70 cm以上の樹木の地区別変化状況

地区名	平成21年	平成26年	増減
板橋	40	49	9
加賀	15	32	17
仲宿	5	7	2
幸町	8	12	4
大山	13	22	9
中板橋	10	16	6
富士見町	30	27	▲ 3
常盤台	119	122	3
向原	47	45	▲ 2
大谷口	82	80	▲ 2
小茂根	121	119	▲ 2
東新町	62	63	1
上板橋	252	252	0
蓮沼町	62	64	2
小豆沢	28	49	21
志村	29	53	24
前野町	30	41	11
中台	17	25	8
若木	11	13	2
東坂下	3	5	2
西台	28	46	18
徳丸	29	66	37
四葉	35	40	5
赤塚	78	94	16
赤塚新町	9	18	9
成増	125	102	▲ 23
三園	2	5	3
坂下	6	18	12
蓮根	22	24	2
舟渡	4	20	16
高島平	91	164	73
新河岸	3	8	5
区全域	1,416	1,701	285

3) 樹木の直径ランク別の推移

- ・直径ランク別では、70～80 cmが 191 本、80～90 cmが 54 本、90～100 本が 30 本、100 cm以上が 10 本の増加であった。

表 5-18 直径 70 cm以上の樹木の直径ランク別変化状況

直径ランク	平成21年	平成26年	増減
70～80cm	658	849	191
80～90cm	396	450	54
90～100cm	285	315	30
100cm以上	77	87	10
合計	1,416	1,701	285

4) 樹木の樹種別の推移

- ・最も本数が増加した樹種はサクラで 131 本、次いでクスノキ 40 本、ケヤキ 37 本であった。
- ・サクラは学校、公園等を中心に区内全域で増加が確認された。
- ・サクラ、クスノキ、ケヤキのいずれにおいても、赤塚公園での増加が多く確認された。

表 5-19 直径 70 cm以上の樹木の樹種別変化状況

樹種	平成21年	平成26年	増減
サクラ	524	655	131
ケヤキ	371	408	37
クスノキ	129	169	40
イチョウ	113	128	15
ムクノキ	58	76	18
スダジイ	44	49	5
ヒマラヤスギ	44	50	6
ホヰラ	23	24	1
エノキ	18	23	5
その他	92	119	27
合計	1,416	1,701	285

5) 樹木の土地利用別の推移

- ・土地利用別では、最も本数が増加したのは公園（134 本）、次いで区立学校（93 本）、その他公共施設（20 本）であった。
- ・公有地での増加が 269 本と、全体の約 94%であった。
- ・公営住宅では 13 本の減少であり、主なものは都営成増アパートや向原団地の建替え、都営富士見町アパートの建築に伴い滅失したものであった。
- ・民有地では、社寺境内地 8 本、工業用地 7 本、商業用地 6 本の増加であった。

表5-20 直径70cm以上の樹木の土地利用別変化状況

土地利用			平成21年	平成26年	増減
公有地	主な区有施設		3	11	8
	その他公共施設		57	77	20
	教育施設	区立学校	100	193	93
		都立学校	11	18	7
		その他	20	27	7
	公園		624	758	134
	公営住宅		72	59	▲ 13
	道路		77	90	13
	計		964	1,233	269
民有地	社寺境内地		194	202	8
	私立学校		21	25	4
	商業用地		14	20	6
	独立住宅		126	125	▲ 1
	集合住宅		41	44	3
	工業用地		5	12	7
	空地		45	31	▲ 14
	農用地		5	6	1
	林野		1	3	2
	計		452	468	16
合 計			1,416	1,701	285

6 樹林地調査

区内に残された樹林地について、保全の取組みのための基礎資料とするための現況調査を行った。

6－1 樹林地の現況（区全域）

- ・ 1箇所300㎡以上の「樹木被覆地」（樹林地及び中低木のみを含む）は、区内全域で2,022箇所（214.96ha）であった。

表6-1 1か所300㎡以上の樹木被覆地の箇所と面積

分類	箇所	面積	
		ha	構成比
平均高さ5m未満の樹林地	841	54.95	25.57%
平均高さ5m以上の樹林地	1,181	160.00	74.43%
合計	2,022	214.96	—

※面積は小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

6－2 樹林地の抽出方法

樹林地の抽出は以下の手順で行った。

- ① 「4 植生被覆・緑被等調査」における「樹木被覆地」のうち、道路上にあるものを除き、土地利用データの敷地境界を基準として、1か所当りの「樹木被覆地」面積が300㎡以上のものを抽出した。
- ② 300㎡以上の「樹木被覆地」のうち、航空機レーザーデータを用いた樹林高さの計測値から、平均高さ5m以上の箇所を「樹林地」と定義して抽出した。
- ③ ②により抽出した「樹林地」について、東京都土地利用現況データ（図3-6 参照）を参考に、次により「安定樹林地」と「安定外樹林地」に分類した。

安定樹林地	教育文化・厚生医療施設、公園等、公営住宅内にある樹林地、社寺林、その他公共的施設内にある樹林地
安定外樹林地	上記以外の私有樹林地

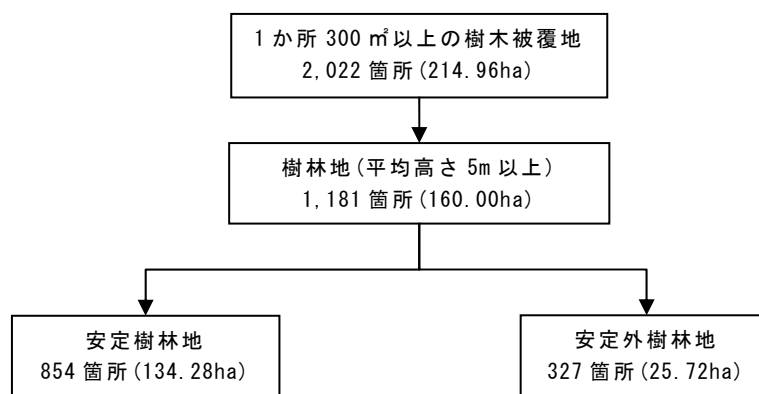


図6-1 樹林地の抽出作業フロー図

6－3 樹林地の状況分析

1) 樹木被覆地の状況分析（1か所300㎡以上のもの）

1)－1 樹木被覆地の土地利用別の状況

- ・「樹木被覆地」とは、高木、中木、低木を問わず樹木によって覆われた区域のこととする。
- ・このうち、1か所あたり300㎡以上のまとまりのある「樹木被覆地」を抽出し、土地利用状況、面積規模別の集計を行なった（表6-2）。
- ・面積規模別では500㎡未満が937箇所・36.23ha、500～1,000㎡が627箇所・42.53ha、1,000～3,000㎡が363箇所・58.61ha、3,000㎡以上が95箇所・77.59haであった。
- ・東京都土地利用現況データを参考にした土地利用区分別では、公共用地が1,184箇所・154.52haで民有地が838箇所・60.44haであった。
- ・公共用地と民有地の箇所の割合は6:4であり、面積割合は7:3であった。
- ・樹木被覆地箇所の多い土地利用は、公園・運動場等が380箇所、独立住宅が346箇所、道路が300箇所、集合住宅が169箇所、公営住宅が144箇所であった。
- ・樹木被覆地面積が大きい土地利用は、公園運動場等が85.80ha、道路が24.70ha、独立住宅が19.62ha、公営住宅が12.36ha、区立学校が11.47haであった。
- ・3,000㎡以上の樹木被覆地面積が大きい土地利用は、公園運動場55.51ha、社寺境内地4.44ha、公営住宅4.21ha、道路3.95ha、空地2.56haであった。
- ・500㎡未満の樹木被覆地面積大きい土地利用は、独立住宅7.80ha、道路5.57ha、公園・運動場4.65ha、集合住宅3.70ha、公営住宅2.84haであった。

表6-2 300㎡以上の樹木被覆地の状況

土地利用		単位	面積規模				合計	
			500㎡未満	500～1000㎡	1000～3000㎡	3000㎡以上		
公共用地	主な区有施設	箇所	9	6	3	0	18	
		面積(㎡)	3,437	4,643	4,928	0	13,008	
	その他公共施設	箇所	49	32	26	5	112	
		面積(㎡)	18,970	21,335	41,249	22,402	103,957	
	区立学校	箇所	51	39	37	2	129	
		面積(㎡)	20,297	28,051	54,686	11,623	114,657	
	都立学校	箇所	8	8	4	0	20	
		面積(㎡)	3,181	6,059	6,351	0	15,591	
	その他学校	箇所	11	6	7	1	25	
		面積(㎡)	3,981	3,692	11,041	6,587	25,301	
	公営住宅	箇所	72	48	16	8	144	
		面積(㎡)	28,382	30,808	22,308	42,073	123,571	
	水面・河川	箇所	21	19	10	1	51	
		面積(㎡)	7,901	12,379	18,028	3,122	41,430	
	道路	箇所	143	96	55	6	300	
		面積(㎡)	55,729	65,588	86,250	39,457	247,024	
	鉄道等	箇所	3	2	0	0	5	
		面積(㎡)	1,282	1,309	0	0	2,590	
	公園・運動場等	箇所	119	102	106	53	380	
		面積(㎡)	46,494	71,462	184,974	555,113	858,043	
	計	箇所	486	358	264	76	1,184	
		面積(㎡)	189,654	245,326	429,817	680,376	1,545,173	
民有地	社寺境内地	箇所	20	20	17	9	66	
		面積(㎡)	7,874	14,392	24,871	44,380	91,518	
	私立学校	箇所	14	9	3	0	26	
		面積(㎡)	5,305	6,094	4,804	0	16,204	
	商業用地	箇所	21	13	4	1	39	
		面積(㎡)	7,630	8,791	8,511	4,588	29,520	
	独立住宅	箇所	205	109	32	0	346	
		面積(㎡)	77,981	71,939	46,279	0	196,199	
	集合住宅	箇所	96	58	13	2	169	
		面積(㎡)	36,960	38,225	22,442	13,247	110,874	
	工業用地	箇所	38	20	8	1	67	
		面積(㎡)	14,216	14,127	13,002	4,025	45,369	
	空地	箇所	46	32	16	5	99	
		面積(㎡)	18,504	21,366	25,571	25,555	90,995	
	農用地	箇所	7	5	3	0	15	
		面積(㎡)	2,656	3,242	4,844	0	10,742	
	林野	箇所	4	3	3	1	11	
		面積(㎡)	1,486	1,789	5,986	3,695	12,956	
	計	箇所	451	269	99	19	838	
		面積(㎡)	172,612	179,964	156,310	95,490	604,377	
	合計		箇所	937	627	363	95	2,022
			面積(㎡)	362,267	425,290	586,127	775,866	2,149,550

※箇所数については、東京都土地利用現況データを基準としており、同一敷地内に複数存在している場合は個々に数えている

※面積は小数第1位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

1) - 2 樹木被覆地の地形区分別の状況

- ・ 航空機レーザデータの標高により、台地と低地の間（標高 15～24m）を斜面と定義づけした。
- ・ 樹木被覆地面積が最も大きいのが低地（93.17ha）、次いで台地（74.61ha）、斜面（47.18ha）であった。
- ・ 樹林率（地形面積に対する樹木被覆地面積の割合）では、斜面が最も高く 8.23%、次いで低地が 7.75%、台地が 5.21%であった。
- ・ 台地の樹木被覆地は規模が小さいものが多い傾向があるが、斜面と低地では規模が大きいものが多い傾向にある。

表6-3 地形区分別の樹木被覆地の状況

地形区分	面積(ha)	樹木被覆地面積(ha)	樹林率(%)
低地	1,202.8	93.17	7.75
斜面	573.0	47.18	8.23
台地	1,433.3	74.61	5.21

表6-4 地形区分別の面積規模別樹木被覆地の状況

地形区分	単位	面積規模				合計
		500㎡未満	500～1000㎡	1000～3000㎡	3000㎡以上	
低地	箇所	355	262	164	42	823
	面積(㎡)	136,987	178,858	271,337	344,473	931,655
斜面	箇所	174	133	82	23	412
	面積(㎡)	67,984	87,904	130,690	185,241	471,819
台地	箇所	408	232	117	30	787
	面積(㎡)	157,296	158,528	184,100	246,152	746,076
合計	箇所	937	627	363	95	2,022
	面積(㎡)	362,267	425,290	586,127	775,866	2,149,550

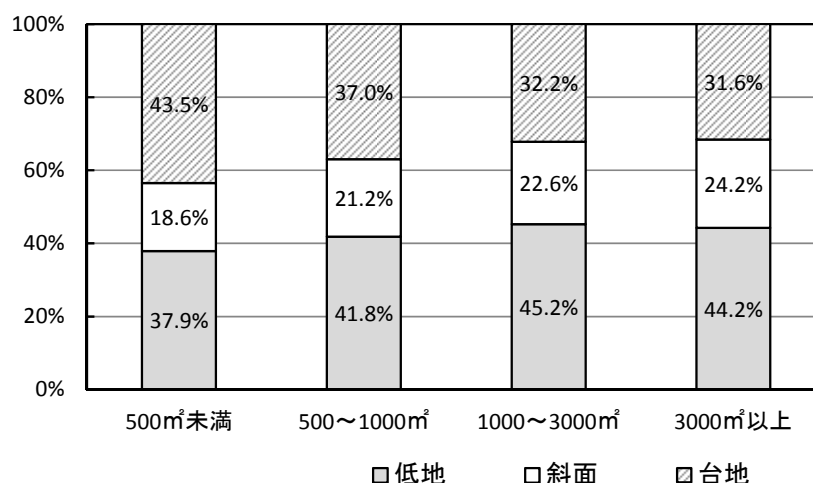


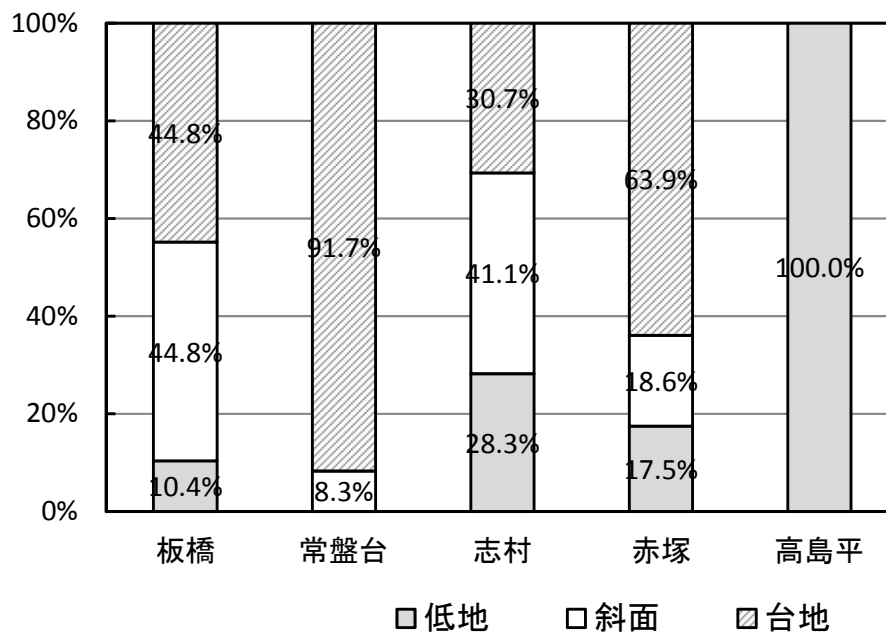
図6-2 面積規模別の地形区分別箇所の割合

- ・地域別にみると、板橋地域は斜面と台地の樹木被覆地箇所数が同じで121箇所であった。
- ・常磐台地域は、地域のほとんどが台地であるため、242箇所が台地に位置し、全体の9割以上であった。
- ・志村地域は、低地、斜面、台地にそれぞれ満遍なく分布がみられたが、斜面に比較的多くの樹木被覆地があった。
- ・赤塚地域は、地域の大半が台地であるため、285箇所が台地に位置し、全体の約64%であったが、面積の小さな斜面でも83箇所の樹木被覆地がみられた。
- ・高島平地域は、地域全域が低地であり、589箇所の樹木被覆地がみられた。

表6-5 地形区分別の地域別樹木被覆地の状況

地形区分	単位	地域区分					合計
		板橋	常磐台	志村	赤塚	高島平	
低地	箇所	28	0	128	78	589	823
	面積(m ²)	30,154	0	126,454	136,424	638,622	931,655
斜面	箇所	121	22	186	83	0	412
	面積(m ²)	121,446	43,771	200,635	105,967	0	471,819
台地	箇所	121	242	139	285	0	787
	面積(m ²)	91,224	268,493	92,064	294,295	0	746,076
合計	箇所	270	264	453	446	589	2,022
	面積(m ²)	242,825	312,264	419,154	536,686	638,622	2,149,550

※面積は小数第1位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。



※グラフの比率は小数第2位で四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある。

図6-3 地域別の地形区分別箇所の割合

- ・ 低地では樹木被覆地の平均高さが5m未満の箇所数が多いが、斜面と台地では5m以上の箇所数が多くなっている。
- ・ 低地での5m以上の樹木被覆地面積の割合は66.4%、斜面での5m以上の樹木被覆地面積の割合は85.5%、台地での5m以上の樹木被覆地面積の割合は77.4%であった。

表6-6 地形区分別の高さ別樹木被覆地の状況

地形区分	単位	高さ区分		合計
		5m未満	5m以上	
低地	箇所	418	405	823
	面積(㎡)	312,648	619,007	931,655
斜面	箇所	119	293	412
	面積(㎡)	68,234	403,586	471,819
台地	箇所	304	483	787
	面積(㎡)	168,665	577,410	746,076
合計	箇所	841	1,181	2,022
	面積(㎡)	549,547	1,600,003	2,149,550

※面積は小数第1位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

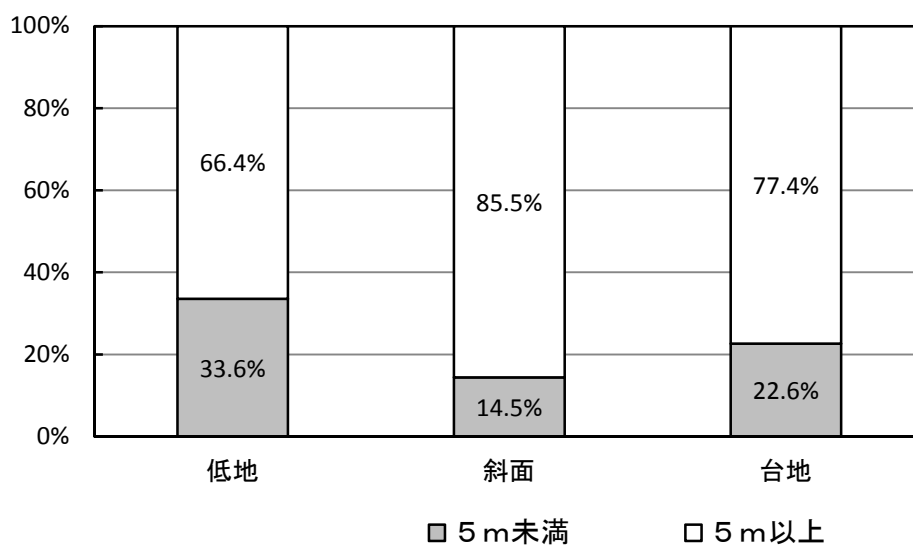


図6-4 高さ区分別の地形区分別面積割合

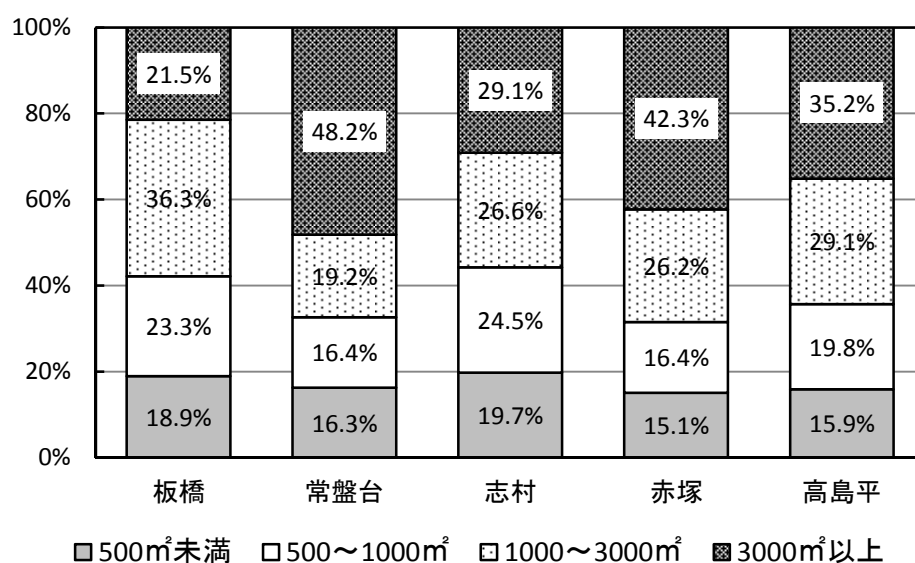
1) - 3 樹木被覆地の地域別の状況

- ・地域別の箇所数では高島平地域（589箇所）、志村地域（453箇所）、赤塚地域（446箇所）、面積では高島平地域（638,622㎡）、赤塚地域（536,686㎡）、志村地域（419,154㎡）の順に多い。
- ・常盤台地域と赤塚地域では3,000㎡以上の樹木被覆地の面積が4割以上を占めている。これは両地域とも都立公園が位置しており、面積規模の大きい樹木被覆地があることによる。
- ・板橋地域は樹木被覆地面積が最も少ない地域であるが、規模の大きい樹木被覆地も少ない。

表6-7 地域別の面積規模別樹木被覆地の状況

地域	単位	面積規模				合計
		500㎡未満	500～1000㎡	1000～3000㎡	3000㎡以上	
板橋	箇所	118	86	55	11	270
	面積(㎡)	45,975	56,497	88,249	52,104	242,825
常盤台	箇所	132	74	41	17	264
	面積(㎡)	50,883	51,126	59,844	150,411	312,264
志村	箇所	212	151	71	19	453
	面積(㎡)	82,751	102,857	111,456	122,090	419,154
赤塚	箇所	213	131	83	19	446
	面積(㎡)	81,123	88,142	140,652	226,769	536,686
高島平	箇所	262	185	113	29	589
	面積(㎡)	101,536	126,668	185,926	224,493	638,622
合計	箇所	937	627	363	95	2,022
	面積(㎡)	362,267	425,290	586,127	775,866	2,149,550

※面積は小数第1位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。



※グラフの比率は小数第2位で四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある。

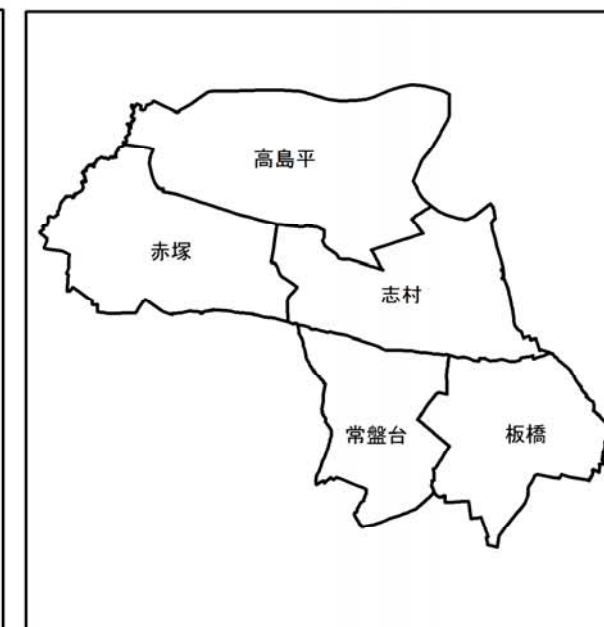
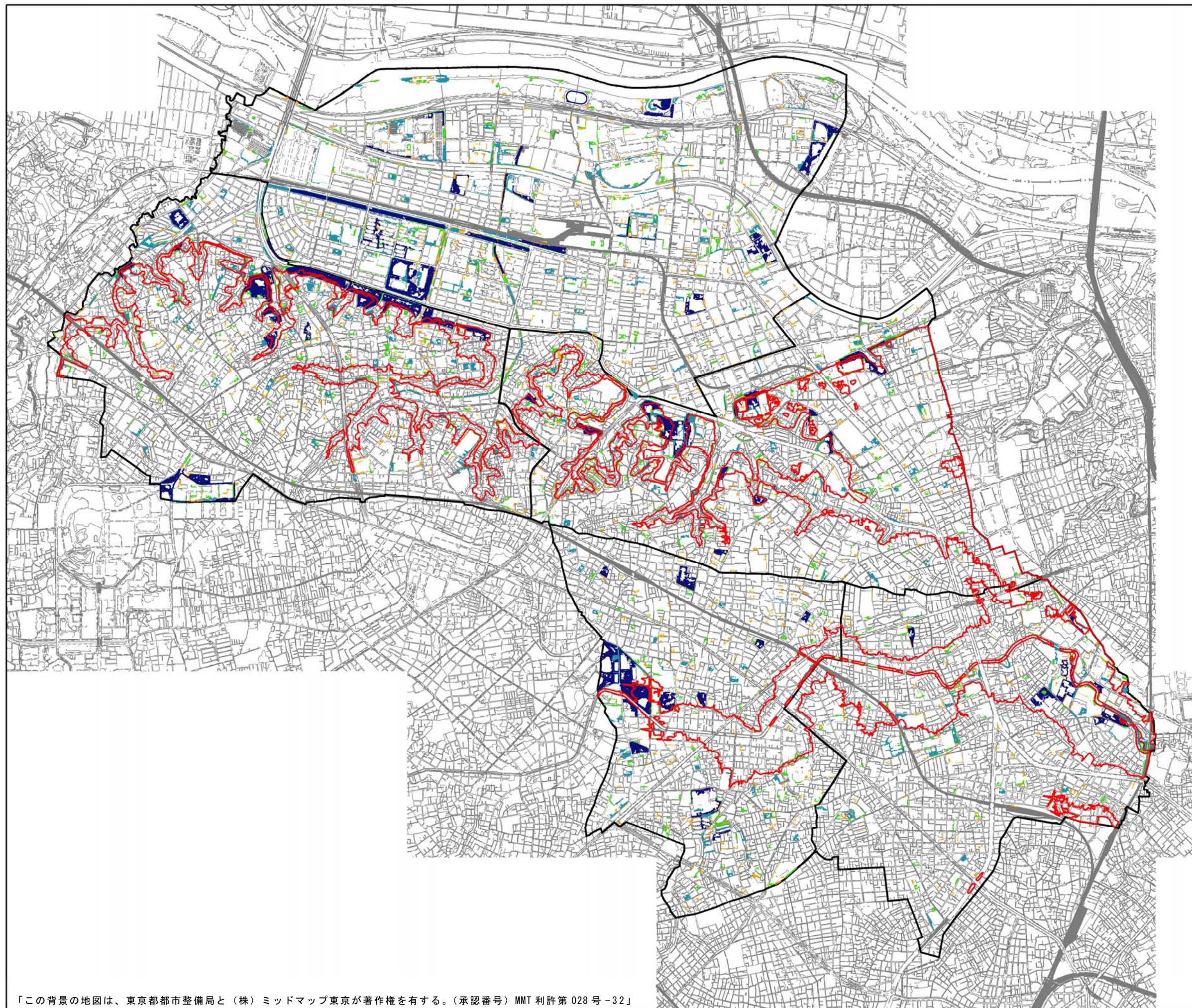
図6-5 地域別の面積規模別面積割合

1) - 4 樹木被覆地の前回調査との比較

- ・平成21年に比べ、104箇所、62,417㎡の増加であった。
- ・樹木被覆率の変化（P46 表4-17参照）では3.2haの減少であったが、まとまった樹木被覆地は増加していることが分かった。
- ・面積規模別では、500㎡未満が80箇所、31,541㎡、500～1,000㎡が20箇所、13,259㎡、1,000～3,000㎡が6箇所、15,199㎡の増加であった。
- ・3,000㎡以上は2箇所の減少であったものの、2,418㎡の増加であった。

表6-8 面積規模別の樹木被覆地の変化状況

面積規模	平成21年		平成26年		増減	
	箇所	面積(㎡)	箇所	面積(㎡)	箇所	面積(㎡)
500㎡未満	857	330,726	937	362,267	80	31,541
500～1000㎡	607	412,031	627	425,290	20	13,259
1000～3000㎡	357	570,928	363	586,127	6	15,199
3000㎡以上	97	773,448	95	775,866	▲ 2	2,418
合計	1,918	2,087,133	2,022	2,149,550	104	62,417



凡例

斜面 (T.P.15m~24m 間)

樹林面積区分

300m²~500m²未満
 500m²~1000m²未満
 1000m²~3000m²未満
 3000m²以上



0 250 500 1,000 1,500 m

「この背景の地図は、東京都都市整備局と（株）ミッドマップ東京が著作権を有する。（承認番号）MMT 利許第 028 号 -32」

図 6-6 樹林地分布図

2) 樹林地の状況分析 (300㎡以上・平均高さ5m以上の樹木被覆地)

1か所あたり300㎡以上で、樹木の平均高さが5m以上の樹木被覆地を「樹林地」と定義し、抽出した「樹林地」について分布状況等の集計を行なった。

2) - 1 樹林地の地域別の状況

- ・区全域では500㎡未満が447箇所、500～1,000㎡が380箇所、1,000～3,000㎡が272箇所、3,000㎡以上が82箇所であった。
- ・地域別では志村地域が277箇所と最も多く、次いで高島平地域 (264箇所)、赤塚地域 (241箇所) の順であった。
- ・赤塚地域、高島平地域は比較的大規模な樹林が多いことが分かった。
- ・100ha当たり箇所数は志村地域が43.0箇所と最も多く、次いで板橋地域 (42.1箇所)、常盤台地域 (38.1箇所) の順であった。

表6-9 地域別の面積規模別樹林地の状況

地域	500㎡未満 (箇所)	500～1000㎡ (箇所)	1000～3000㎡ (箇所)	3000㎡以上 (箇所)	合計 (箇所)	地区面積(ha)	100ha当たり箇所数
板橋	87	72	52	10	221	525.0	42.1
常盤台	75	53	35	15	178	467.1	38.1
志村	105	94	59	19	277	644.6	43.0
赤塚	85	76	61	19	241	655.0	36.8
高島平	95	85	65	19	264	925.3	28.5
区全域	447	380	272	82	1,181	3,217.0	36.7

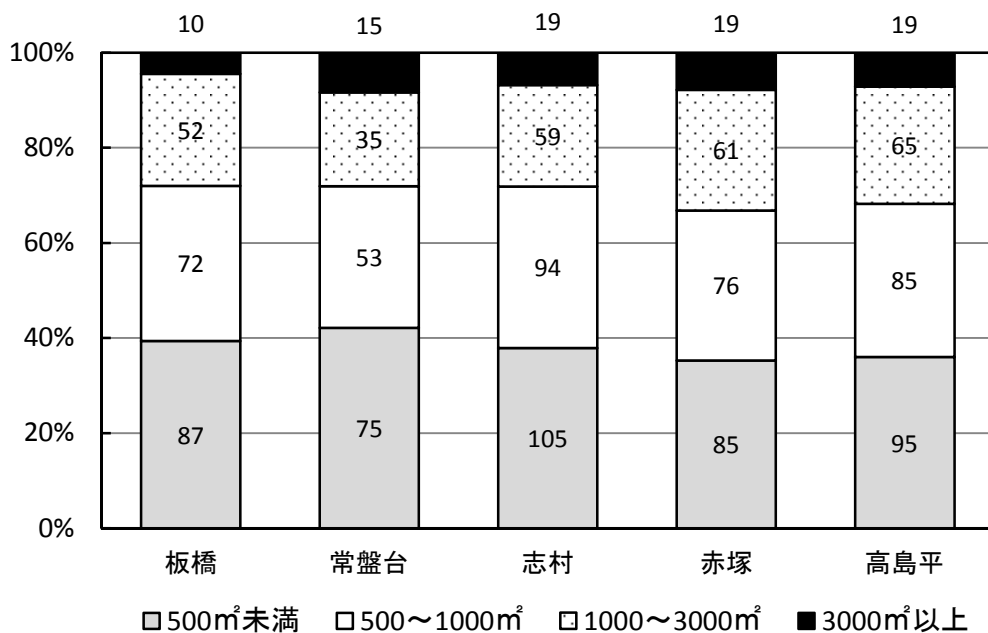


図 6-7 地域別の面積規模別樹林地の割合

2) - 2 樹林地の土地利用別の状況

- ・ 公共用地（777箇所、124.18ha）、民有地（404箇所、35.82ha）で、公共用地の樹林地面積の割合が77%、民有地の樹林地面積の割合が23%であった。
- ・ 民有地では社寺境内地が最も多く8.84ha、次いで独立住宅が8.50ha、集合住宅が7.76haであった。

表6-10 土地利用別の面積規模別面積規模別樹林地の状況

土地利用		単位	面積規模				合計
			500㎡未満	500～1000㎡	1000～3000㎡	3000㎡以上	
公共用地	主な区有施設	箇所	8	6	3	0	17
		面積(㎡)	3,107	4,643	4,928	0	12,678
	その他公共施設	箇所	23	19	11	3	56
		面積(㎡)	8,917	12,398	19,570	14,343	55,228
	区立学校	箇所	40	34	32	2	108
		面積(㎡)	16,023	24,759	47,782	11,623	100,186
	都立学校	箇所	6	6	1	0	13
		面積(㎡)	2,273	4,511	2,063	0	8,848
	その他学校	箇所	6	4	4	1	15
		面積(㎡)	2,235	2,496	7,184	6,587	18,502
	公営住宅	箇所	32	20	9	4	65
		面積(㎡)	12,305	12,830	12,224	25,115	62,473
	水面・河川	箇所	11	13	7	1	32
		面積(㎡)	4,254	8,174	13,167	3,122	28,717
	道路	箇所	75	63	43	6	187
		面積(㎡)	29,458	43,010	66,632	39,457	178,556
	鉄道等	箇所	3	1	0	0	4
		面積(㎡)	1,282	530	0	0	1,811
	公園・運動場等	箇所	71	71	89	49	280
		面積(㎡)	28,360	48,712	158,595	539,117	774,784
	計	箇所	275	237	199	66	777
		面積(㎡)	108,214	162,061	332,144	639,364	1,241,783
民有地	社寺境内地	箇所	17	17	17	9	60
		面積(㎡)	6,565	12,555	24,871	44,380	88,371
	私立学校	箇所	6	8	3	0	17
		面積(㎡)	2,255	5,564	4,804	0	12,623
	商業用地	箇所	5	6	2	1	14
		面積(㎡)	1,719	3,620	3,844	4,588	13,771
	独立住宅	箇所	49	46	23	0	118
		面積(㎡)	19,106	31,545	34,399	0	85,049
	集合住宅	箇所	55	35	11	2	103
		面積(㎡)	21,831	22,918	19,644	13,247	77,641
	工業用地	箇所	16	9	3	1	29
		面積(㎡)	6,132	6,065	4,436	4,025	20,658
	空地	箇所	22	19	11	2	54
		面積(㎡)	8,995	12,444	17,946	8,459	47,843
	農用地	箇所	1	1	0	0	2
		面積(㎡)	405	554	0	0	958
	林野	箇所	1	2	3	1	7
		面積(㎡)	424	1,200	5,986	3,695	11,305
	計	箇所	172	143	73	16	404
		面積(㎡)	67,431	96,464	115,930	78,394	358,220
合計		箇所	447	380	272	82	1,181
		面積(㎡)	175,646	258,525	448,074	717,758	1,600,003

※面積は小数第1位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

2) - 3 樹林地の地形区分別の状況

- ・ 低地の樹林地は405箇所、61.90ha、斜面では293箇所、40.36ha、台地では483箇所、57.74haであった。
- ・ 斜面の樹林地率は7.04%、低地は5.15%、台地は4.03%であった。
- ・ 台地の樹林地は比較的面積規模の小さい樹林地が多い傾向にあるが、低地部は面積規模の大きい樹林地が多い傾向にある。

表 6-11 地形区分別の樹林地の状況

地形区分	面積(ha)	樹林面積(ha)	樹林率(%)
低地	1,202.8	61.90	5.15
斜面	573.0	40.36	7.04
台地	1,433.3	57.74	4.03

表 6-12 地形区分別の面積規模別樹林地の状況

地形区分	単位	面積規模				合計
		500㎡未満	500～1000㎡	1000～3000㎡	3000㎡以上	
低地	箇所	136	133	104	32	405
	面積(㎡)	53,001	91,103	178,210	296,693	619,007
斜面	箇所	101	97	73	22	293
	面積(㎡)	39,537	64,411	118,646	180,992	403,586
台地	箇所	210	150	95	28	483
	面積(㎡)	83,107	103,011	151,219	240,073	577,410
合計	箇所	447	380	272	82	1,181
	面積(㎡)	175,646	258,525	448,074	717,758	1,600,003

※面積は小数第1位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

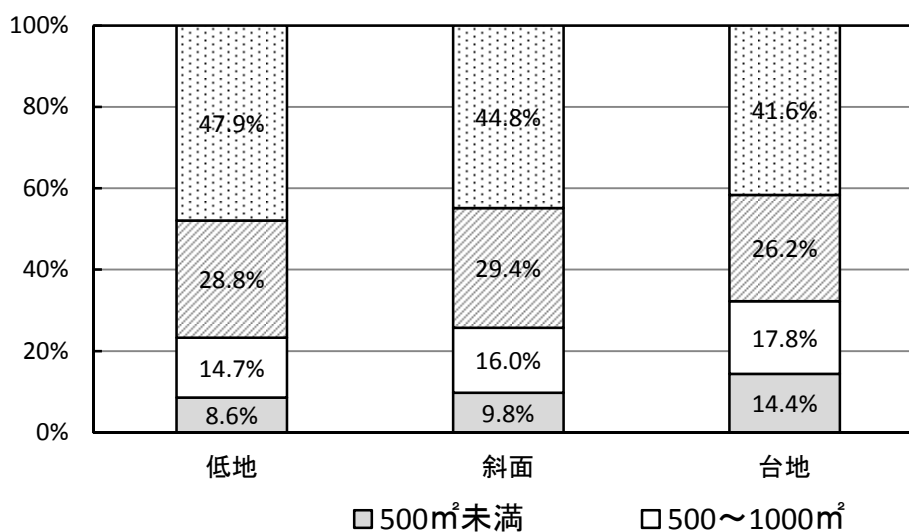


図 6-8 地形区分別の面積規模別樹林地面積の割合

2) - 4 樹林地の前回調査との比較

- ・平成21年に比べ、129箇所が増加であった。
- ・面積規模別では、500㎡未満が79箇所、500～1,000㎡が37箇所、1,000～3,000㎡が11箇所、3,000㎡以上が2箇所の増加であった。
- ・地域別では、高島平地域が55箇所と最も多く、次いで板橋地域34箇所、志村地域26箇所、常盤台地域13箇所、赤塚地域1箇所の増加であった。

表 6-13 面積規模別の樹林地箇所の変化状況

単位:箇所

面積規模	平成21年	平成26年	増減
500㎡未満	368	447	79
500～1000㎡	343	380	37
1000～3000㎡	261	272	11
3000㎡以上	80	82	2
合計	1,052	1,181	129

表6-14 地域別の樹林地箇所の変化状況

単位:箇所

地域名	平成21年	平成26年	増減
板橋	187	221	34
常盤台	165	178	13
志村	251	277	26
赤塚	240	241	1
高島平	209	264	55
合計	1,052	1,181	129

3) 自然性等を有する樹林地の状況分析

平成21年度調査で「自然性等を有する樹林地」と判定した47箇所及び「社寺境内にある樹林地」9箇所について現地調査を行った。

3) - 1 調査方法

- ・ 調査項目は表6-15の通りとした。

表 6-15 現地調査の項目

区分	状況	備考
土地利用区分		
接道状況	良好／困難／その他	
目視高木の平均高さ		
保存樹林		指定面積、保存樹林番号
竹林		
歴史性	有／無	寺社内にある、古い農家で看板が建っている、所有者との話により歴史性がある場合などは有
文化財指定	有／無	
景観形成重点地区内	有／無	机上調査(現地不要)
農地との隣接状況	有／無	農家屋敷地など一体性があれば有
土地条件①	台地／低地／斜面	
土地条件②	自然地形／造成地	
樹林の状況	一様(密)／一様(疎)／一様でない	
傾斜(勾配)	勾配15°未満／15°～30°／30°～45°／45°以上	
傾斜(向き)	東／西／南／北	北側に斜面が向いている場合は北
崖・崩落の有無	有り／無し／その他	
擁壁の有無	有り／無し／その他	
土留めの有無	有り／無し／その他	
樹林の形態	混在林／独立林／独立性のある屋敷林／社寺境内林／参道	混在林は施設と混在しているもの
樹林タイプ	表b参照	主なものとし、混在して判断が難しい場合はE
主な樹種(高木層)		割合(◎印:とても多い、○印:まばらにある、△印:ある、×印:まれにあるの印象評価)についても記録
主な樹種(亜高木層)		
主な樹種(低木層)		
植生自然度	表a参照(6／7／8)	
常緑樹割合		天空の状態を確認
明暗	明るい／やや明るい／やや暗い／暗い	
林床(植生)	%	林床の割合
林床型	常緑木本／落葉木本／ササ／常緑草本／落葉草本／シダ／ツル植物／その他	主なものを一つ選択
林床の群落名		目立つものがあれば分かる範囲で記入
表土	侵食／土砂流出／裸地／根露出／踏み固め／その他	確認できるもの全てを選択
大径木(大樹高木)		直径50cm以上の樹木の樹種と本数
大径木の平均幹周り		
大径木の樹形	良／不良／その他	
大径木の樹冠の連続性	樹林／点在	
立ち入り	可／不可	
ゴミの有無	有り／やや有り／無し	

表 a 自然度の分類基準

自然度	分類基準
8	自然植生に近いもの、若しくは代償植生とされる樹林のうち、人為の影響が比較的小さいもの
7	代償植生とされる樹林のうち、人為の影響が比較的大きいもの
6	植栽樹を主体としたもの

表 b 樹林タイプの基準

樹林タイプ	対象樹林
A	－1 シラカシ林、シラカシーケヤキ林、スダジイ林
	－2 シロダモ－ケヤキ林
B	－1 クヌギーコナラ林
	－2 イヌシデ林、クヌギ林、ミズキ林
C	－1 モウソウチク林、ヤマザクラ林
	－2 ケヤキ林、アカマツ林
D	ヒノキ・サクラ植林
E	常緑広葉樹植栽林 落葉広葉樹植栽林

※樹林の形態については、前回調査時の項目と比較できるよう「混在林」を土地利用区分により「屋敷林」と「その他」に分類し、集計を行った。

表 c 樹林形態区分

樹林形態集計区分	現地調査区分	
	樹林形態	土地利用
独立林	独立林	－
独立性のある屋敷林	独立性のある屋敷林	－
屋敷林	混在林	独立住宅
社寺境内林	社寺境内林	－
その他	混在林	独立住宅以外

3) - 2 自然性等を有する樹林の状況

- ・ 現地調査箇所56箇所のうち、消失したものは4箇所であった。消失の理由は建築等による樹木伐採であった。
- ・ 屋敷林は18箇所、その他施設と一体となった樹林地は4箇所であった。

表 6-16 自然性等を有する樹林の形態

樹林形態	独立住宅	集合住宅	社寺境内地	樹林	その他	合計
独立林	0	1	0	14	4	19
独立性のある屋敷林	2	0	0	0	0	2
屋敷林	18	0	0	0	0	18
社寺境内林	0	0	9	0	0	9
その他	0	1	0	1	2	4
合計	20	2	9	15	6	52

3) - 3 樹林タイプと樹林形態

- ・ 樹林タイプで最も多いのがE（常緑広葉樹と落葉広葉樹の植栽林）であった。
- ・ A-1（シラカシ林、シラカシーケヤキ林、スダジイ林）は2箇所で、屋敷林であった。
- ・ C-1（モウソウチク林、ヤマザクラ林）は4箇所で、竹林が主体でケヤキやシラカシが混じる樹林地であり、全て独立林であった。
- ・ C-2（ケヤキ林、アカマツ林）は4箇所で、ケヤキが主体の樹林地が3箇所、アカマツが主体の樹林地が1箇所であり、独立林と屋敷林が各2箇所であった。

表 6-17 樹林タイプと樹林形態

樹林タイプ	独立林	独立性のある 屋敷林	屋敷林	社寺境内林	その他	合計
A-1	0	0	2	0	0	2
C-1	4	0	0	0	0	4
C-2	2	0	2	0	0	4
E	13	2	14	9	4	42
合計	19	2	18	9	4	52

3) - 4 自然性等を有する樹林 5 地域別の分布状況

- ・ 地域別では赤塚地域が最も多く20箇所、次いで志村地域が19箇所であった。
- ・ 独立林は赤塚地域が10箇所、志村地域が8箇所、板橋地域が1箇所であった。
- ・ 独立性のある屋敷林は、板橋地域と赤塚地域に各1箇所であった。
- ・ 屋敷林は志村地域が7箇所、赤塚地域が6箇所、常盤台地域が3箇所、板橋地域が2箇所であった。
- ・ 緑被率の最も低い板橋地域には6箇所あり、高島平地域には自然性を有する樹林はなかった。
- ・ 「その他」区分樹林地の面積規模が大きいのは中台三丁目の集合住宅と一体となった樹林地であった。

表 6-18 地域別の樹林状況

地域名	独立林	独立性のある 屋敷林	屋敷林	社寺境内林	その他	合計
板橋	1	1	2	1	1	6
常盤台	0	0	3	4	0	7
志村	8	0	7	2	2	19
赤塚	10	1	6	2	1	20
高島平	0	0	0	0	0	0
合計	19	2	18	9	4	52

3) - 5 樹林形態と立地状況

- ・ 立地状況では斜面が27箇所で全体の約52%、台地が25箇所で全体の48%、低地部にはなかった。
- ・ 低地部には樹木被覆地は多く存在するが、比較的新しいものであると考えられる。
- ・ 独立林のほとんどが斜面に位置する斜面林であった。

表 6-19 樹林形態と立地状況

地域名	斜面	台地	低地	合計
独立林	16	3	0	19
独立性のある屋敷林	1	1	0	2
屋敷林	7	11	0	18
社寺境内林	2	7	0	9
その他	1	3	0	4
合計	27	25	0	52

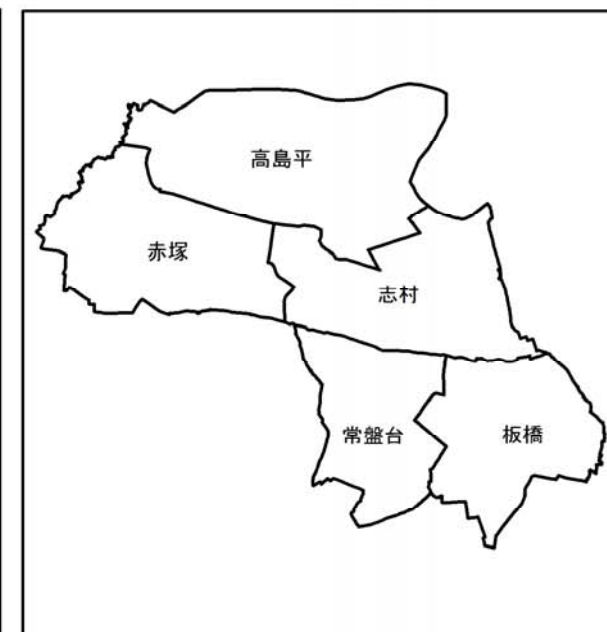
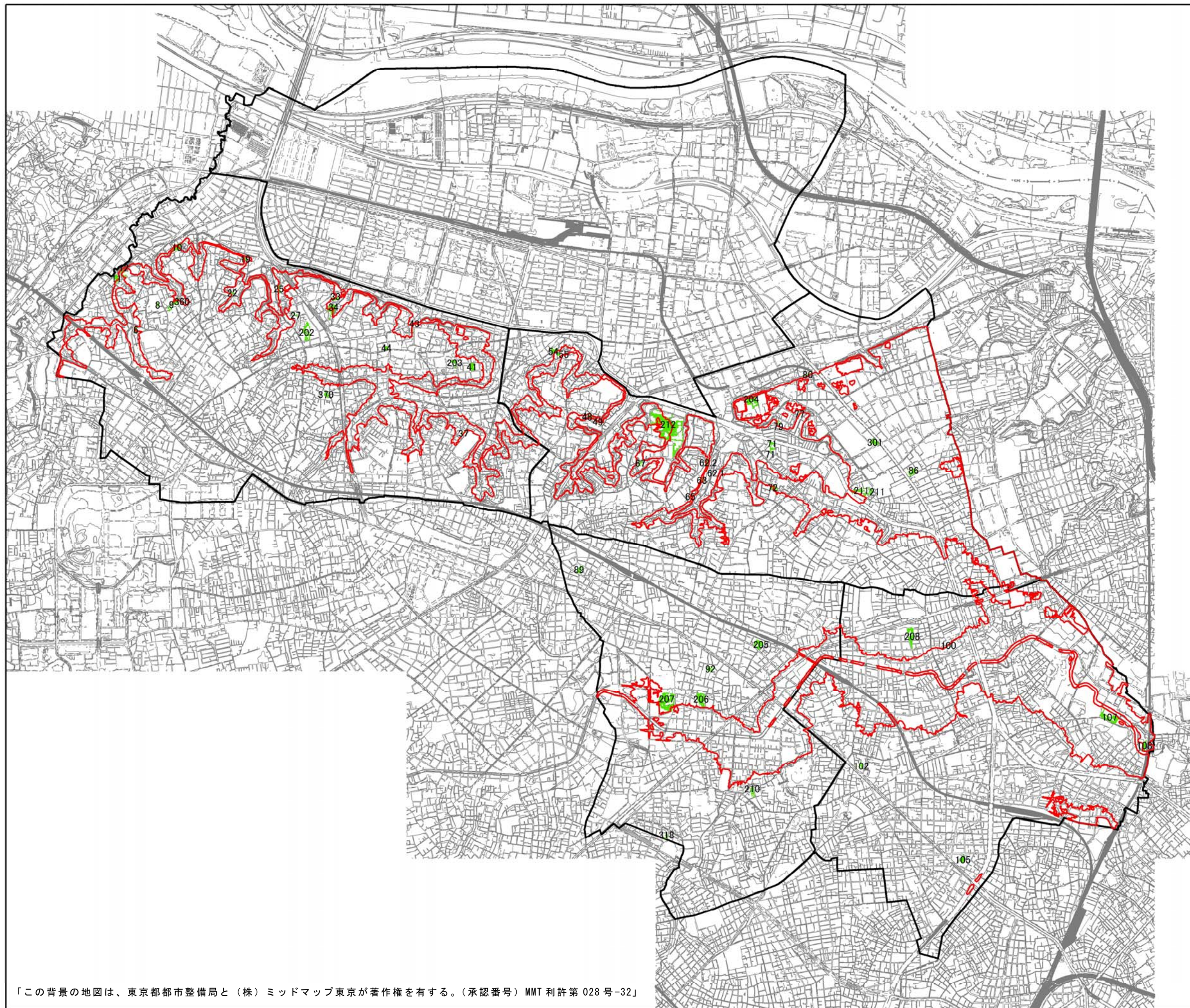
3) - 6 自然性等を有する樹林 樹林形態と大径木（直径70cm以上）の分布状況

- ・ 3箇所については立ち入りができなかったため、大径木状況が確認できなかった。
- ・ ほとんどの樹林地において、直径70cm以上の大径木が存在していた。
- ・ 大径木本数は、「社寺境内林」が最も多く、1aあたりの大径木本数についても、「社寺境内林」が最も高い。

表 6-20 樹林形態と大径木本数

地域名	箇所	面積(a)	本数	1aあたり大径木本数
独立林	19	188.92	65	0.34
独立性のある屋敷林	2	25.32	14	0.55
屋敷林	18	234.55	88	0.38
社寺境内林	9	425.28	245	0.58
その他	4	415.63	28	0.07
合計	52	1289.71	440	0.34

※面積は小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。



凡例

- 斜面 (T.P.15m~24m 間)
- 自然性等を有する樹林地 (番号は樹林No)



0 250 500 1,000 1,500
m

「この背景の地図は、東京都都市整備局と(株)ミッドマップ東京が著作権を有する。(承認番号)MMT利許第028号-32」

図 6-9 自然性等を有する樹林地分布図

7 屋上（人工地盤上）緑化調査

7-1 屋上（人工地盤上）緑化の現況

屋上（人工地盤上）緑化調査は、建物の屋上部分等にある下表の緑地を対象に行った。

調査対象箇所	対象とする緑地
屋上（人工地盤上）緑化	建物の屋上部分、ベランダ部分、および建物以外の構造物等の人工地盤上にある緑地

「屋上（人工地盤上）緑化」は、以下より「屋上緑化」と略称する。

1) 屋上緑化の状況分析（区全域）

- ・ 区全域の屋上緑化箇所は 3,630 箇所、緑化面積は 11.31ha であった。
- ・ 1 箇所当たりの平均緑化面積では 31 m²で、箇所数は非常に多いが 1 箇所あたり面積は小さい。
- ・ 屋上緑化の分布状況では小規模なものは区南部を中心に全域に分布が見られた。また緑化面積 300 m²以上の大規模な屋上緑化は区北部に多くみられた。

表7-1 区全域の屋上緑化の状況

箇所	緑化面積(ha)	1箇所当たりの面積(m ²)
3,630	11.31	31

2) 調査方法

【抽出基準】

- ・ 緑被率調査で作成した「屋上緑化」について、建物を最小単位として所在地、緑化面積の調査を行った。
- ・ 計測精度は 1 m²以上とした。

3) 屋上緑化の状況分析（5地域別）

- ・地域別の屋上緑化箇所は、最も多いのが板橋地域、次いで常盤台地域、志村地域、赤塚地域、高島平地域の順であった。
- ・地域別の屋上緑化面積では最も大きいのが高島平地域、次いで板橋地域、志村地域、赤塚地域、常盤台地域の順であった。
- ・緑化面積が大きいものは、新河岸三丁目の東京都下水道局新河岸水再生センター（区立新河岸三丁目公園）（2,071 m²）、清水町の東洋大学総合スポーツセンター（2,066 m²）、東坂下一丁目の工場（1,199 m²）であった。
- ・100ha 当たりの箇所と緑化面積をみると、板橋地域が共に最も多く分布している。
- ・板橋地域は緑被率が最も低い地域であるが、屋上緑化による緑化が多いことが分かる。

表 7-2 地域別屋上緑化箇所および屋上緑化面積の順位

地域	屋上緑化箇所		屋上緑化面積	
	箇所	順位	ha	順位
板橋	1,143	1	3.09	2
常盤台	721	2	1.20	5
志村	700	3	2.20	3
赤塚	563	4	1.47	4
高島平	503	5	3.34	1
区全域	3,630	—	11.31	—

※面積は小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

表 7-3 100ha 当たり緑化箇所および1箇所当たり緑化面積順位（地域別）

地域	100ha当たり箇所		1箇所当たり緑化面積	
	箇所	順位	m ²	順位
板橋	218	1	66	1
常盤台	154	2	31	2
志村	109	3	17	5
赤塚	86	4	26	4
高島平	54	5	27	3
区全域	113	—	31	—

表 7-4 地域別屋上緑化状況

地域	地域面積 (ha)	箇所	緑化面積 (ha)	100ha当たり 箇所	100ha当たり 緑化面積(ha)	1箇所当たり 緑化面積(m ²)
板橋	525	1,143	3.09	218	0.59	66
常盤台	467	721	1.20	154	0.26	31
志村	645	700	2.20	109	0.34	17
赤塚	655	563	1.47	86	0.23	26
高島平	925	503	3.34	54	0.36	27
区全域	3,217	3,630	11.31	113	0.35	31

4) 屋上緑化の状況分析（32地区別）

- ・地区別の屋上緑化箇所の順位は、第1位が中板橋地区で232箇所、次いで板橋地区が229箇所、大山地区が222箇所、常盤台地区が209地区、徳丸地区が205箇所であった。
- ・地区別の緑化面積の順位では、第1位が新河岸地区で1.01ha、次いで加賀地区が0.96ha、高島平地区が0.94ha、中板橋地区が0.77ha、蓮沼地区が0.58haであった。
- ・区全域の屋上緑化面積規模別の状況は、50㎡未満のものが3,279箇所と全体の約9割を占めていた。50㎡以上100㎡未満では177箇所、100㎡以上300㎡未満が113箇所、300㎡以上が61箇所であった。
- ・加賀地区、東坂下地区、舟渡地区は50㎡未満の小規模な屋上緑化が少ないため、地区全体の箇所数は少ないが比較的規模の大きい屋上緑化箇所が多くなっている。
- ・若木地区は全体箇所数が比較的少ないが大規模な屋上緑化もなく、屋上緑化そのものが少ない地区である。

表 7-5 地区別屋上緑化箇所の順位

順位	地区	箇所
1	中板橋	232
2	板橋	229
3	大山	222
4	常盤台	209
5	徳丸	205
	区全域	3,630

表 7-6 地区別屋上緑化面積の順位

順位	地区	面積(ha)
1	新河岸	1.01
2	加賀	0.96
3	高島平	0.94
4	中板橋	0.77
5	蓮沼町	0.58
	区全域	11.31

※面積は小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

表 7-7 地区別屋上緑化面積別の分布状況

地区名	面積 (ha)	50㎡未満		50～100㎡未満		100～300㎡未満		300㎡以上		合計	
		箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)
板橋	100.5	216	0.24	8	0.06	4	0.06	1	0.04	229	0.38
加賀	48.7	20	0.03	6	0.04	4	0.06	5	0.82	35	0.96
仲宿	57.6	110	0.12	5	0.03	4	0.05	0	0.00	119	0.20
幸町	75.6	176	0.19	7	0.05	2	0.02	0	0.00	185	0.27
大山	79.1	211	0.24	10	0.06	1	0.01	0	0.00	222	0.32
中板橋	100.3	208	0.23	11	0.08	8	0.12	5	0.34	232	0.77
富士見町	63.2	116	0.14	2	0.01	3	0.04	0	0.00	121	0.19
常盤台	106.1	193	0.21	15	0.10	0	0.00	1	0.04	209	0.34
向原	43.2	30	0.05	0	0.00	2	0.03	1	0.04	33	0.12
大谷口	82.7	139	0.13	5	0.03	3	0.05	1	0.03	148	0.24
小茂根	90.9	111	0.10	3	0.02	6	0.09	0	0.00	120	0.21
東新町	67.2	115	0.09	3	0.02	1	0.03	0	0.00	119	0.14
上板橋	77.0	85	0.09	6	0.04	1	0.03	0	0.00	92	0.15
蓮沼町	113.7	167	0.17	5	0.03	6	0.09	3	0.28	181	0.58
小豆沢	87.4	96	0.10	7	0.04	3	0.05	3	0.16	109	0.35
志村	71.9	71	0.08	7	0.05	4	0.07	0	0.00	82	0.20
前野町	143.6	140	0.12	7	0.04	10	0.14	3	0.11	160	0.42
中台	71.6	59	0.06	4	0.03	2	0.04	0	0.00	65	0.13
若木	53.2	32	0.04	2	0.02	0	0.00	0	0.00	34	0.06
東坂下	45.8	15	0.01	5	0.04	0	0.00	2	0.19	22	0.24
西台	85.1	50	0.04	3	0.02	2	0.02	1	0.17	56	0.25
徳丸	187.0	185	0.20	14	0.09	6	0.08	0	0.00	205	0.37
四葉	48.3	27	0.02	0	0.00	2	0.03	0	0.00	29	0.06
赤塚	195.4	140	0.16	2	0.01	3	0.04	1	0.05	146	0.26
赤塚新町	48.9	32	0.04	3	0.02	2	0.05	4	0.15	41	0.26
成増	142.0	102	0.11	7	0.05	8	0.13	3	0.17	120	0.46
三園	57.7	29	0.04	4	0.02	1	0.03	2	0.21	36	0.30
坂下	96.7	103	0.12	9	0.06	4	0.06	1	0.04	117	0.29
蓮根	93.8	100	0.11	4	0.02	7	0.12	3	0.12	114	0.37
舟渡	208.1	36	0.05	3	0.02	5	0.08	8	0.34	52	0.48
高島平	313.0	132	0.12	8	0.06	6	0.09	9	0.67	155	0.94
新河岸	161.7	33	0.05	2	0.02	3	0.05	4	0.90	42	1.01
区全域	3217.0	3,279	3.50	177	1.18	113	1.76	61	4.86	3,630	11.31

※面積は小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

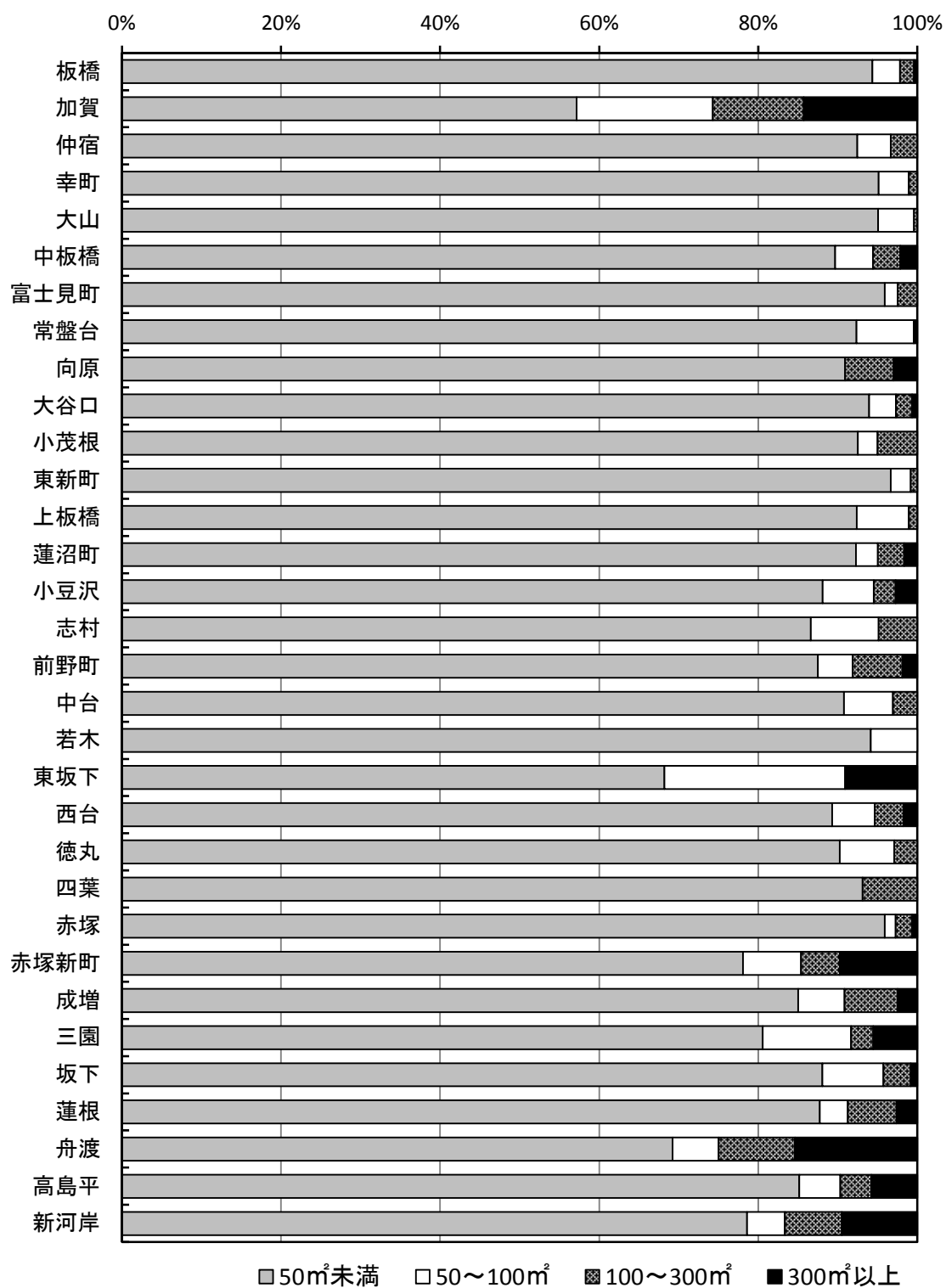


図 7-1 地区別の屋上緑化面積規模別箇所の割合

5) 屋上緑化の状況分析（建物用途別）

- ・ 屋上緑化が最も多く確認されたのは住宅系で、2,185 箇所、緑化面積 3.78ha であった。
- ・ 独立住宅と集合住宅の箇所数はほぼ同様であったが、緑化面積は集合住宅が 2.83ha、独立住宅が 0.96ha であった。
- ・ 公共系は 187 箇所、3.14ha の屋上緑化があり、緑化面積では住宅系に次いで 2 番目であった。
- ・ 公共系の中で屋上緑化が最も多いのは、学校等の教育施設で 53 箇所、1.39ha であった。1 箇所当たりの面積が大きく、大規模な屋上緑化が多くなっている。
- ・ 商業系は 856 箇所、1.72ha の屋上緑化が確認できた。
住商併用建物が多く 657 箇所、0.89ha で、次いで事務所建築物が 122 箇所 0.43ha であった。
- ・ 工業系は 306 箇所、1.09ha の屋上緑化が確認できた。
- ・ 用途不明と分類している箇所は、平成 23 年東京都建物データが存在しない屋上緑化で、近年に建物の新設により屋上緑化が整備されたものである。91 箇所、1.28ha の屋上緑化が確認できた。
- ・ 用途不明箇所においても、50 m²未満の小規模な屋上緑化が多いが、300 m²以上では 8 箇所、1.00ha の緑化面積から、非常に規模の大きい屋上緑化が新設されていることが分かる。

表 7-8 建物用途別屋上緑化面積別の状況

用途区分		50㎡未満		50～100㎡未満		100～300㎡未満		300㎡以上		合計	
		箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)
公共系	官公庁施設	10	0.01	1	0.01	3	0.05	0	0.00	14	0.07
	教育施設	18	0.03	13	0.09	11	0.19	11	1.08	53	1.39
	文化施設	1	0.00	2	0.01	2	0.04	0	0.00	5	0.05
	宗教施設	7	0.01	1	0.01	0	0.00	0	0.00	8	0.02
	医療施設	26	0.04	7	0.05	7	0.11	5	0.41	45	0.60
	厚生施設	27	0.04	4	0.03	13	0.21	2	0.08	46	0.36
	供給施設	2	0.00	1	0.01	2	0.03	1	0.18	6	0.21
	処理施設	4	0.01	1	0.01	0	0.00	5	0.42	10	0.43
	計	95	0.15	30	0.21	38	0.62	24	2.16	187	3.14
商業系	事務所建築物	102	0.12	9	0.05	8	0.12	3	0.14	122	0.43
	商業施設	46	0.06	8	0.05	4	0.06	3	0.16	61	0.33
	公衆浴場等	5	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	5	0.00
	住商併用建物	627	0.65	24	0.15	6	0.09	0	0.00	657	0.89
	宿泊施設	0	0.00	2	0.02	0	0.00	0	0.00	2	0.02
	遊興施設	6	0.00	1	0.01	2	0.03	0	0.00	9	0.05
	計	786	0.84	44	0.28	20	0.29	6	0.30	856	1.72
住宅系	独立住宅	1,088	0.86	12	0.08	2	0.02	0	0.00	1,102	0.96
	集合住宅	961	1.20	71	0.47	38	0.58	13	0.58	1,083	2.83
	計	2,049	2.06	83	0.55	40	0.61	13	0.58	2,185	3.78
工業系	専用工場	57	0.10	6	0.04	3	0.05	4	0.24	70	0.43
	住居併用工業	210	0.25	4	0.03	1	0.01	0	0.00	215	0.29
	運輸施設	6	0.01	3	0.02	1	0.02	2	0.07	12	0.12
	倉庫施設	5	0.01	0	0.00	1	0.02	3	0.22	9	0.25
	計	278	0.36	13	0.09	6	0.11	9	0.53	306	1.09
空地等		4	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.30	5	0.30
不明(新規建物)		67	0.09	7	0.05	9	0.14	8	1.00	91	1.28
合計		3,279	3.50	177	1.18	113	1.76	61	4.86	3,630	11.31

※平成 23 年度東京都土地利用現況データを元になっているため、建物形状がデータ上にない新たな屋上緑化は不明とした。

※面積は小数第 3 位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

※面積は小数第 3 位で四捨五入しているため面積が 0.00ha でも箇所が 0 箇所とは限らない。

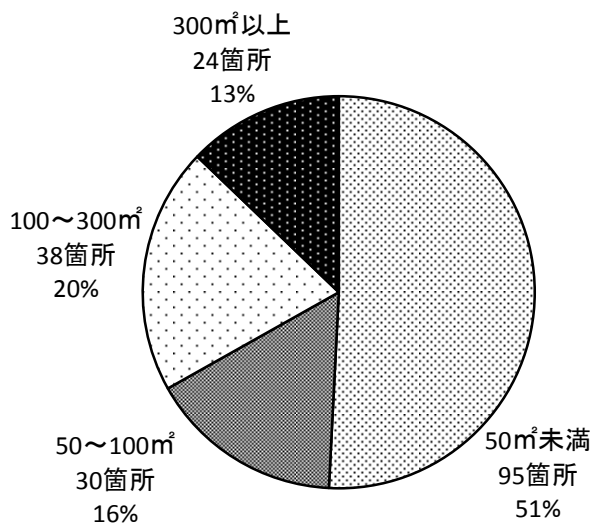


図 7-2 土地利用別屋上緑化箇所（公共系）

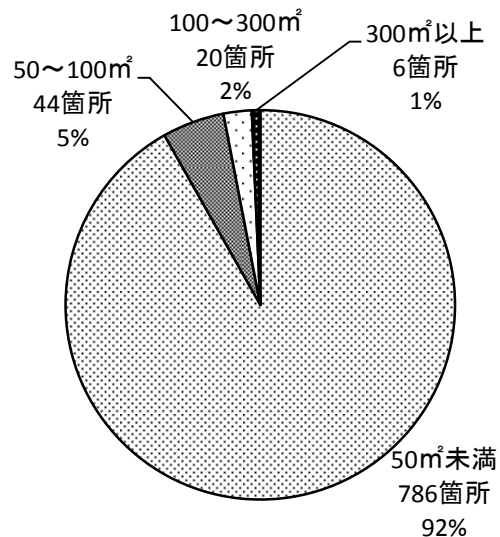


図 7-3 土地利用別屋上緑化箇所（商業系）

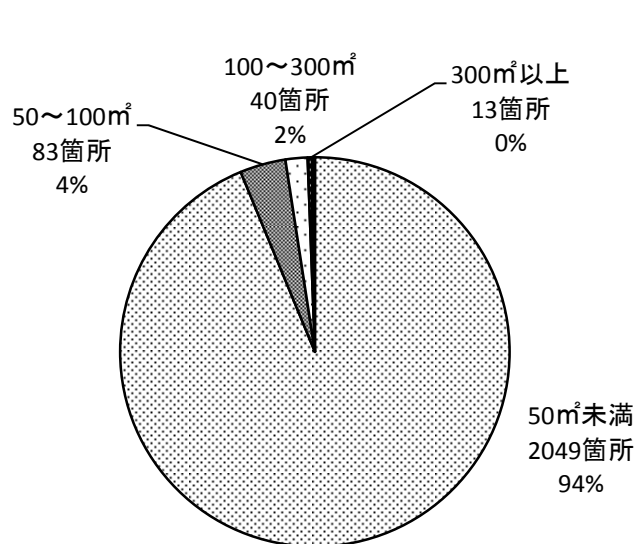


図 7-4 土地利用別屋上緑化箇所（住宅系）

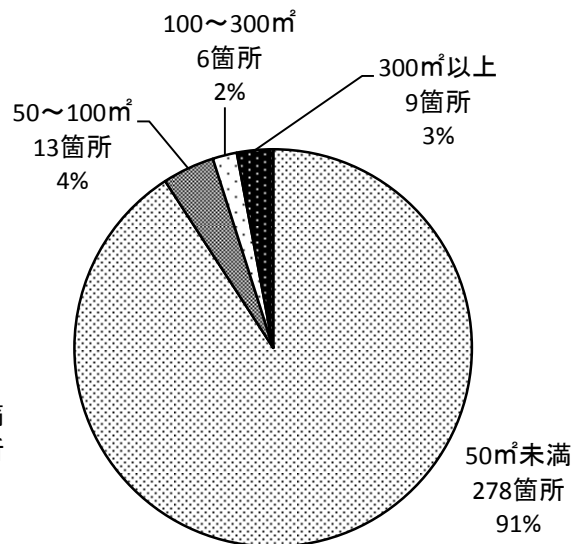


図 7-5 土地利用別屋上緑化箇所（工業系）

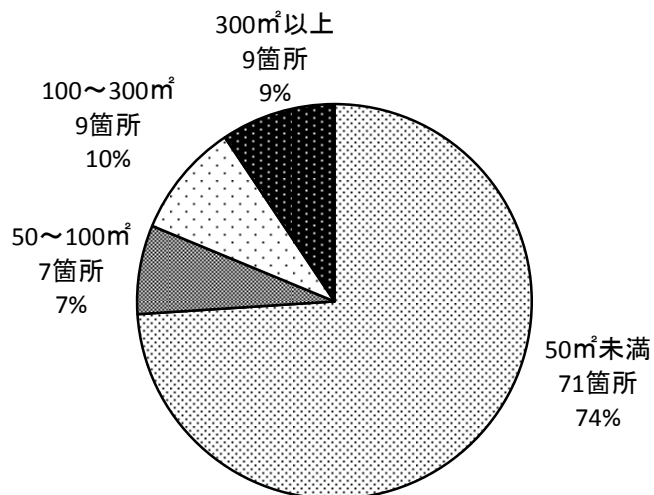
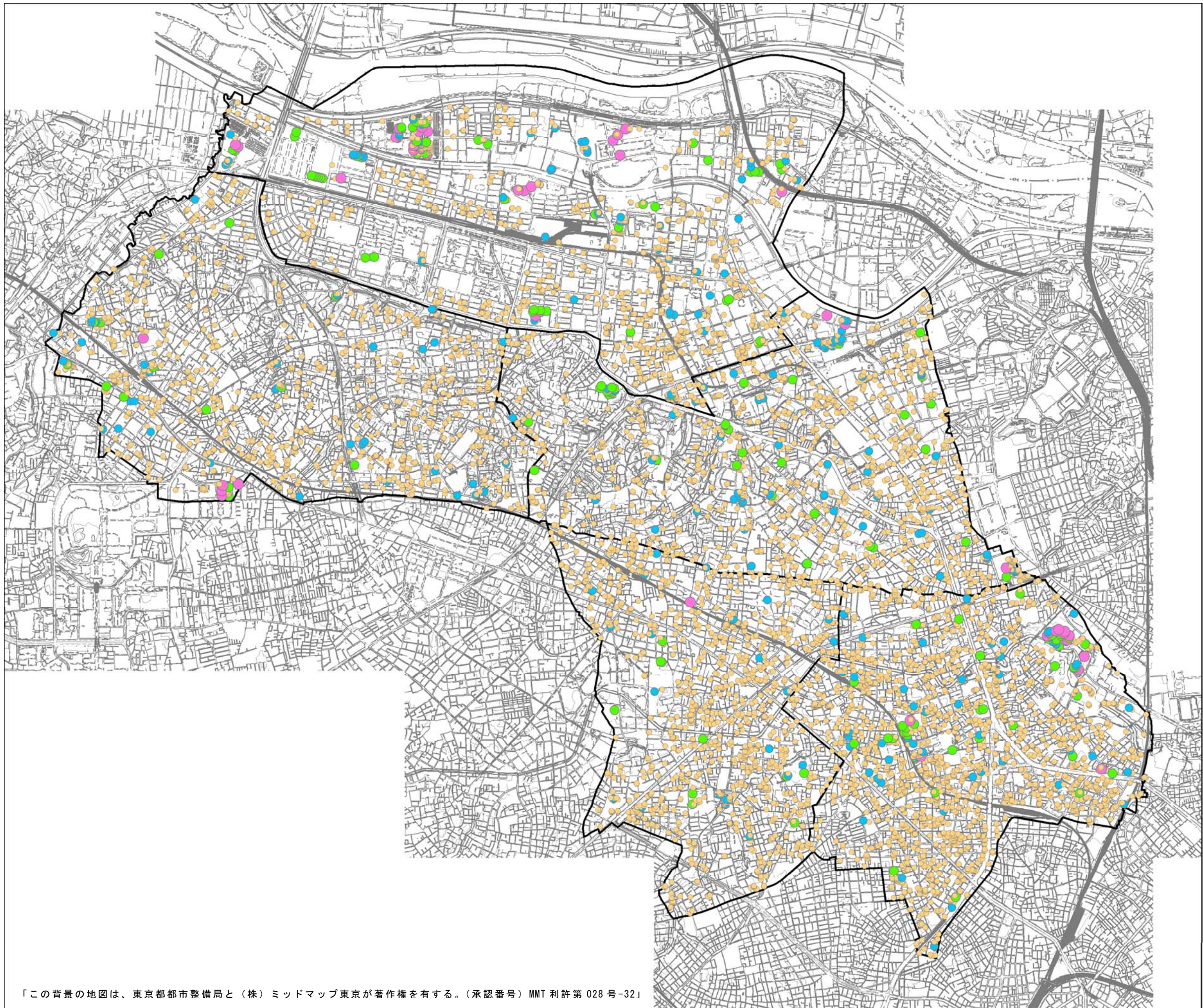
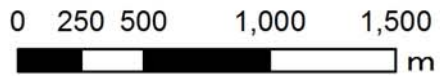


図 7-6 土地利用別屋上緑化箇所（その他）



凡例

- 50㎡未満
- 50㎡以上100㎡未満
- 100㎡以上300㎡未満
- 300㎡以上



「この背景の地図は、東京都都市整備局と（株）ミッドマップ東京が著作権を有する。（承認番号）MMT 利許第 028 号-32」

図 7-7 屋上緑化分布状況

7-2 過去の調査結果との比較

1) 区全域及び地域別の推移

- ・区全域の屋上緑化は 1,132 箇所、3.06ha の増加であった。
- ・全ての地域で増加であったが、最も増加が大きいのが板橋地域で 443 箇所、1.38ha の増加であった。

表 7-9 屋上緑化箇所 過去の調査結果との比較

地域	平成21年		平成26年		増減	
	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)
板橋	700	1.71	1,143	3.09	443	1.38
常盤台	446	0.80	721	1.20	275	0.40
志村	489	1.05	700	2.20	211	1.15
赤塚	486	1.43	563	1.47	77	0.04
高島平	377	3.26	503	3.34	126	0.08
区全域	2,498	8.25	3,630	11.31	1,132	3.06

※面積は小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

2) 建物用途別の推移

- ・公共系の屋上緑化は 56 箇所、1.73ha の増加で増加面積は最も大きかった。
- ・商業系は 176 箇所、0.49ha の増加であった。
- ・住宅系は 779 箇所、0.96ha の増加で、増加箇所数は最も多かった。
- ・工業系は 56 箇所、0.45ha の増加であった。
- ・詳細の用途区分では屋上緑化面積が最も増加したのは教育施設 (0.88ha) であった。
- ・教育施設の主な増加箇所は、帝京大学医学部、東洋大学総合スポーツセンター、区立赤塚第二中学校、都立高島高等学校等であった。
- ・集合住宅の屋上緑化は 296 箇所、0.66ha の増加であった。
- ・医療施設の屋上緑化は 16 箇所、0.41ha の増加であった。
- ・板橋区では事業面積 350 m²以上の建築計画において緑化計画書を届け出なければならない (事業面積 1,000 m²以上は東京都も必要)。板橋区及び東京都の緑化計画書制度は地上部緑化とともに屋上部緑化を行わなければならないため、建築計画に伴う緑化指導により屋上緑化が増加したと考えられる。

表 7-10 建物用途別の屋上緑化箇所と面積の推移

用途区分		平成21年		平成26年		増減	
		箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)
公共系	官公庁施設	14	0.09	14	0.07	0	▲ 0.02
	教育施設	41	0.51	53	1.39	12	0.88
	文化施設	4	0.03	5	0.05	1	0.02
	宗教施設	6	0.02	8	0.02	2	0.00
	医療施設	29	0.19	45	0.60	16	0.41
	厚生施設	27	0.22	46	0.36	19	0.14
	供給施設	5	0.06	6	0.21	1	0.15
	処理施設	5	0.29	10	0.43	5	0.14
		131	1.41	187	3.14	56	1.73
商業系	事務所建築物	92	0.25	122	0.43	30	0.18
	商業施設	49	0.19	61	0.33	12	0.14
	公衆浴場等	3	0.00	5	0.00	2	0.00
	住商併用建物	525	0.74	657	0.89	132	0.15
	宿泊施設	1	0.00	2	0.02	1	0.02
	遊興施設	8	0.05	9	0.05	1	0.00
	スポーツ施設	2	0.00	0	0.00	▲ 2	0.00
		680	1.23	856	1.72	176	0.49
住宅系	独立住宅	619	0.65	1,102	0.96	483	0.31
	集合住宅	787	2.17	1,083	2.83	296	0.66
		1,406	2.82	2,185	3.78	779	0.96
工業系	専用工場	75	0.25	70	0.43	▲ 5	0.18
	住居併用工場	156	0.23	215	0.29	59	0.06
	運輸施設	11	0.14	12	0.12	1	▲ 0.02
	倉庫施設	8	0.02	9	0.25	1	0.23
		250	0.64	306	1.09	56	0.45
	空地	3	0.01	5	0.30	2	0.29
	道路	1	0.01	0	0.00	▲ 1	▲ 0.01
	鉄道	1	0.02	0	0.00	▲ 1	▲ 0.02
	不明	26	2.09	91	1.28	65	▲ 0.81
合計		2,498	8.25	3,630	11.31	1,132	3.06

※面積は小数第3位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

※面積は小数第3位で四捨五入しているため面積が0.00haでも箇所が0箇所とは限らない。